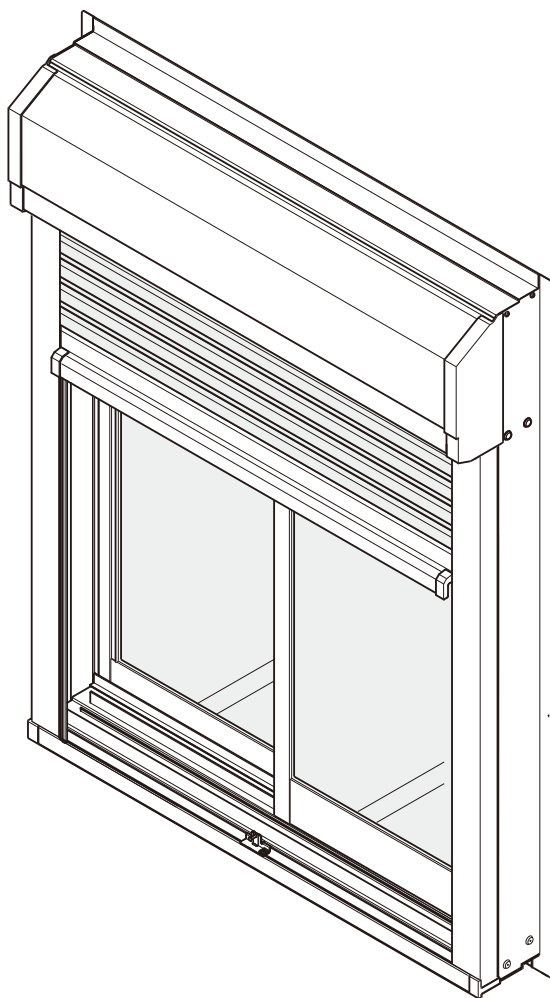


窓シャッター 電動 標準タイプ・耐風タイプ・採風タイプ

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■重要なお知らせ	1
■警告用語の種類と意味	1
■電池について注意していただきたいこと	2
・危険	2
・警告	2
・注意	2
■特に注意していただきたいこと	3~8
・My Windowアプリをご使用時に注意していただきたいこと	4
・Life Assist2をご使用時に注意していただきたいこと	4
・外出先から遠隔操作をする前に	5
・お願い	6~7
・ご使用にあたっての留意事項	8
■各部のなまえとはたらき	9
■ご使用前の確認事項	10
・プレッシャーリターンセンサーとは	10
■リモコンのなまえとはたらき	11・12
1.単機能リモコン	11
2.単機能リモコンのLED表示	11
3.高機能リモコン	12
4.高機能リモコンの液晶画面の表記について	12
■操作のしかた	13~27
1.単機能リモコンの操作のしかた	13
2.単機能リモコンの採風操作のしかた	14
3.単機能リモコン メモリ位置登録のしかた	15
4.単機能リモコン メモリ位置操作のしかた	15
5.高機能リモコンの操作のしかた	16
6.高機能リモコンの採風操作のしかた	17
7.標準・耐風タイプ 高機能リモコン メモリ位置登録のしかた	18
8.標準・耐風タイプ 高機能リモコン メモリ位置操作のしかた	18
9.採風タイプ 高機能リモコン メモリ位置登録のしかた	19
10.採風タイプ 高機能リモコン メモリ位置操作のしかた	19
11.高機能リモコン 品種番号選択のしかた	20
12.高機能リモコン キーロック、メニューロック操作のしかた	21
13.高機能リモコン 時刻設定のしかた	22
14.高機能リモコン タイマー時刻設定のしかた	23
15.高機能リモコン タイマー作動設定のしかた	24
16.追加リモコンの登録方法	25
17.追加リモコンの登録解除方法	26
18.リモコンの電池消耗時の表示について	27
19.リモコンホルダー設置について	27

■スマートフォンアプリ「My Window」について	28～39
1.スマートフォンアプリ「My Window」のインストール	28
2.高機能リモコン、単機能リモコン、スマートフォンアプリ「My Window」でできること	28
3.シャッターの登録について	29・30
4.スマートフォンアプリ「My Window」のホーム画面について	31
5.スマートフォンアプリ「My Window」の操作画面について	32
6.スマートフォンアプリ「My Window」の操作のしかた	33～35
7.スマートフォンアプリ「My Window」の操作画面の編集について	36～38
8.スマートフォンアプリ「My Window」のシーン登録、操作について	39・40
■Life Assist2について	41～48
1.Life Assist2について	41
2.Life Assist2の参考設置位置について	42
3.Life Assist2の登録について	43～46
4.スマートフォンアプリ「Life Assist2」の操作のしかた	46・47
5.「Life Assist2」アプリケーションのシャッターの登録解除について	48
■標準・耐風タイプ 異常表示の原因と解除のしかた	49・50
1.異常表示	49
2.停電復帰	50
■採風タイプ 異常表示の原因と解除のしかた	51・52
1.異常表示	51
2.停電復帰	52
■連窓方立の取外し方、取付け方	53
■幅木ロック機構の使い方	54
1.幅木ロックとは	54
2.幅木ロックの操作のしかた	54
■停電時開閉機構の使い方	55～57
1.停電時開閉機構とは	55
2.開閉のしかた	55
3.標準・耐風タイプ 電動復帰のしかた	56
4.採風タイプ 電動復帰のしかた	57
■シャッター上下限位置の設定のしかた	58
■動画一覧表	59・60
■点検とお手入れ	60・61
・点検	60
・プレッシャーリターンセンサーの作動点検	61
・お手入れ	61
■故障かなと思ったら	62
■商品保証について	63

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。

「電動窓シャッター」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱説明書に従ってください。

なお、この取扱説明書に従わず、乱用または誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。従って、「電動窓シャッター」のご使用およびお手入れの際は、この取扱説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問い合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-413-433

- 4.リモコンの操作方法やシャッターの取扱いについては、こちらの二次元バーコードにアクセスしてください。



警告用語の種類と意味

※この章では、「電動窓シャッター」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱説明書では、危険度の高さ（または事故の大きさ）に従って、次の4段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意 味
⚠ 危 険	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または、重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠ 警 告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または、重傷を負う危険が想定されます。
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促す情報で、指示に従わないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

電池について注意していただきたいこと

電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや火災、周囲を汚損する原因になりますので、下記項目をお守りください。

⚠ 危 険

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。失明など障害のおそれがあります。

⚠ 警 告

- 電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや火災のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・電池は乳幼児の手の届く所に置かないでください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
 - ・電池を火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。
 - ・電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。
 - ・電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - ・新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。
 - ・長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。

⚠ 注 意

- 電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや火災のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
 - ・電池を水などで濡らさないでください。
 - ・電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて使用、保管してください。

特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

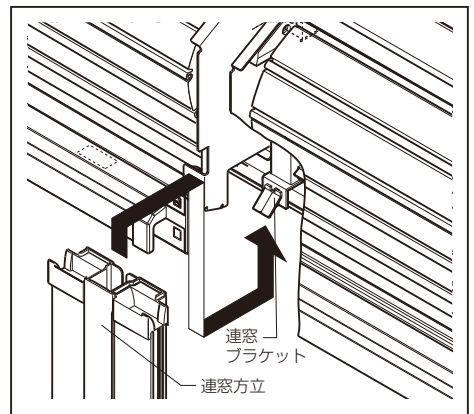
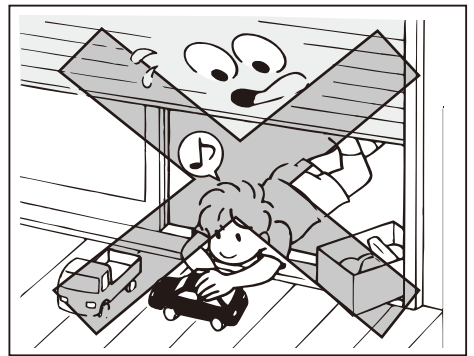
※ご使用の際は商品に張ってあるラベルもよくお読みの上、正しくご使用ください。

！ 警 告

- 「電動窓シャッター」は、電波を利用する機器ですので、心臓ペースメーカーなどをご使用の方は念のため医療機器メーカー様にご相談ください。

！ 注 意

- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちにとめるボタンを押してシャッターを停止させ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。取除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 開口の下部はプレッシャーリターンセンサーが感知できない範囲(不感知帯〔下枠より100mm程度〕)が出る場合があります。この範囲に人・物がいないことを確認してから作動させてください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。
- プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたらリモコンのとめるボタンを押して、ただちにシャッターを停止させ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障のおそれがあります。
- プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- 改造しないでください。特にモーターおよびリモコンの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。
- 点検口を開けて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。
- 連窓方立の取付け後に、落とし錠のレバー部「閉」刻印が半分かくれるまでレバーを下げて、落とし錠受けに固定してください。固定されていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- シャッターの電源プラグが露出している場合、雷が発生しているときには、電源プラグに触らないでください。感電のおそれがあります。
- 連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながるおそれがあります。



My Windowアプリをご使用時に注意していただきたいこと

— お願い —

- My Windowアプリで操作を行う場合は、「設定」画面で「変換アダプタ使用」を「OFF」にしてください。「ON」になっているとご使用できません。
- My Windowアプリ起動時は、開閉状態が確認できるまで約10秒ほどかかる場合があります。開閉状態が確認できない場合は、シャッターと通信ができる位置で、ホーム画面を下にスワイプし更新してください。
- My Windowアプリの操作画面で開閉状態を確認する場合は、シャッターと通信ができる位置で、停止ボタンを押して更新してください。
- My Windowアプリを複数台のスマートフォンで同時に立ち上げないでください。シャッターが誤作動する場合があります。
- My Windowアプリで開閉操作を行った後は、必ずアプリを閉じてください。シャッターが誤作動する場合があります。

Life Assist2をご使用時に注意していただきたいこと

※安全のため、必ずお守りください。

※ご使用の際は、取扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

注 意

- 雷が発生しているときは、電源プラグに触らないでください。感電のおそれがあります。

— お願い —

- Life Assist2 ホームデバイス 1台には、電波の届く範囲でシャッターを最大8台まで登録・操作することができます。
- Life Assist2 ホームデバイスは1棟内に最大3台まで設置でき、ホームデバイス3台設置時は最大24台まで登録・操作ができます。
- 無線LANルーターは、バッファロー製 WSR-3200AX4S、WSR-1800AX4 およびWSR-2533DHP3を推奨品としております。
- 宅外にガレージシャッターがある場合は、ガレージシャッター用にホームデバイスを設置していただくことをおすすめします。

外出先から遠隔操作をする前に

- ・在宅している方がいる場合には、在宅している方に操作を依頼してください。
- ・在宅している方が操作できない場合は、事前連絡後に外出先からの遠隔操作を行ってください。
- ・スマートスピーカーの誤作動に起因する不具合については、HEMSメーカー、スマートスピーカーのメーカーにお問い合わせください。
- ・Life Assist2(HEMS機器)の使用承諾の内容を必ず守ってください。
- ・スマートスピーカー誤作動防止のため、テレビ・電話機や外部の音声で反応しない場所にスマートスピーカーを設置してください。
- ・シャッター作動中にスマートスピーカーで停止させることはできません。途中で停止したいときはリモコンのとめるボタンで停止してください。
- ・停電後の復帰操作はリモコンで行ってください。停電後の復帰操作はリモコンからしかできません。
- ・シャッター異常時はHEMS機器からは解除できません。リモコンで異常解除を行ってください。

注 意

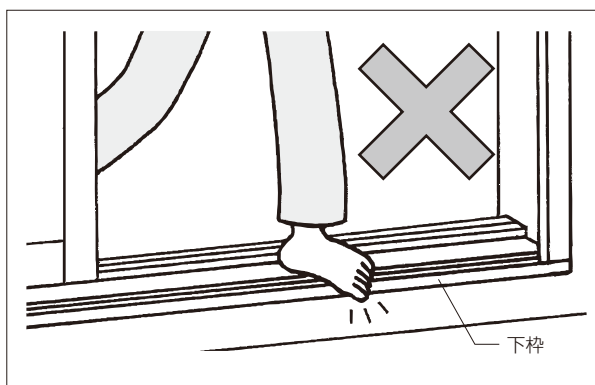
- リモコン・スマートフォン、HEMS操作機器で電動シャッターを作動させる場合、シャッターの下に人がいないことを確認した上で操作してください。シャッターはワンタッチで開閉作動するため、お子さまなどが挟まれると重大な事故になるおそれがあります。
- HEMS対応機器で作動させる場合
 - ・遠隔操作でシャッターを作動させる場合、人がいないことを確認した上で操作してください。バルコニー、ガーデン等に閉め出されるおそれがあります。
 - ・遠隔操作でシャッターを作動させる場合、周囲に人がいないこと、物がいないことを確認した上で操作してください。お子さま、物などが挟まれると重大な事故、故障となるおそれがあります。
 - ・遠隔操作でシャッターを作動させる場合、状態確認ができない場合は操作しないでください。急にシャッターが作動すると驚いて転倒しケガをするおそれがあります。
 - ・遠隔操作による閉作動中でも負荷を検出するとシャッターは反転上昇します。開作動中に負荷を検出すると停止します。状態が確認できない場合は操作しないでください。状態を確認せずに開閉操作を行った場合、お子さま、物などが再度挟まり重大な事故となるおそれがあります。
 - ・外出時に施錠したことを確認していない場合は、シャッターを上昇させないでください。サッシが施錠されていない状態でシャッターを上昇させると外部から侵入されることがあります。
 - ・スマートスピーカーを使用している場合、バルコニー、ガーデン等に出るときはスマートスピーカーのマイク機能をOFFにしてください。テレビ等の音声で誤作動すると閉め出されることがあります。
 - ・外出するときは、スマートスピーカー機能をOFFにしてください。留守番電話の音声等で誤作動するとシャッターが上昇し、外部から侵入されることがあります。

お願い

- 外に開く窓、ガラスルーバー窓、折れ戸（フォールディング）、ドアに電動シャッターを取付けた場合、必ず窓・ドアが完全に閉まっていることを確認してからシャッターを操作してください。また、シャッターを全開にした時以外は窓・ドアを開閉しないでください。サッシ・ドア・シャッターの破損の原因になります。
- 短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置がはたらき、一定時間作動が停止することがあります。（故障ではありません）10～15分程度時間をおくと、再び開閉できます。
- シャッターは少なくとも1ヵ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなることがあります。
- シャッターを無理に引っ張ったり、押上げたりしないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。
- おやすみまたは外出の際は、安全のため、シャッターを閉めて幅木ロックを施錠してください。また、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際も必ず施錠してください。
- 幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損することがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。
- シャッターボックスに、はしごをかけたり、上に乗ったりしないでください。変形および故障、転落や負傷につながるおそれがあります。
- 採風タイプの場合、採風状態で操作ハンドルを引くとフラップスラットが一斉に閉じるため非常に大きな音がする場合がありますのでご注意ください。
- シャッターの開閉が見えない場所でのリモコンの取付けおよび使用はしないでください。
- シャッターボックスに雪が30cm以上積もった場合は、必ず取り除いてください。
- 変形および故障につながります。また、その際は足場をしっかりと確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。
- シャッターが凍結または雪が付着したときは、必ず溶けてから操作してください。また、シャッターの凍結や雪の付着が想定されるときは遠隔操作やタイマーでの操作はしないでください。無理な作動は故障や破損、誤作動の原因になります。
- お子さまにリモコンを操作させないでください。誤って人・物が挟まれるおそれがあります。
- 故意にシャッターボックス内に水をかけないでください。電子部品や駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。
- 下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物等がないようにしてください。誤作動の原因になります。
- 電波の強い地域ではタイマー操作を含み正常に作動しないことがあります。あらかじめご了承ください。
- 極度の電圧変動が起きた場合、シャッターが正常に動かないことがあります。
- シャッターのそばでトランシーバーなどの無線機は使用しないでください。正常に作動しないことがあります。
- シャッターのそばで電子レンジや医療機器などの高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。正常に作動しないことがあります。
- 建物の構造により現場で遮るものがない場合でも電波がとどかない場合がありますので、必ず作動が確認できる位置で操作を行ってください。
- 非常時にも必ず開閉できるよう、「開閉のしかた」に従って1年に1回程度作動確認をしてください。
- 同じサイズのシャッターでもシャッターのバラツキにより作動速度が違う場合があります。

お願い

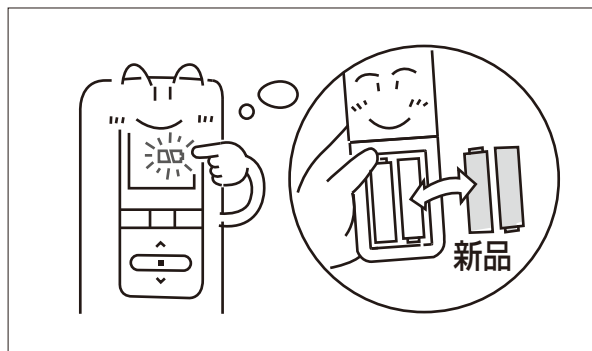
- お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ペラなどを使用しないでください。
- 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。
- 採風タイプの場合、シャッターを採風状態(シャッターが通気できる状態)にしてスラットの間のゴミ、ホコリ、砂なども取り除いてください。シャッターがきれいに閉まらない原因になります。
- 下枠先端部に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。



- シャッターの開閉が見えない場所でのリモコンの取付けおよび使用はしないでください。
- リモコンは、濡れた手で操作しないでください。また、リモコンは直射日光の当たる場所や高温・高湿の場所に置かないでください。



- リモコンの電池残量低下の表示が出た時は電池の交換をしてください。(同梱されている乾電池は、短期間で消耗することがあります。)
高機能リモコンの電池交換はすみやかに行ってください。電池を抜いてしばらくすると、時刻がリセットされ再設定が必要になります。
- 電池交換直後は操作してもシャッターが作動しないことがあります。電池交換によるリモコンがリセットされる影響で故障ではありません。



- 電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。
- 電池は、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。
- 機器内部には精密な部品があります。故障の原因となりますので、本体を開けないでください。
- 採風タイプの場合、手動での操作はゆっくり開閉してください。スラットが当たり破損するおそれがあります。

ご使用にあたっての留意事項

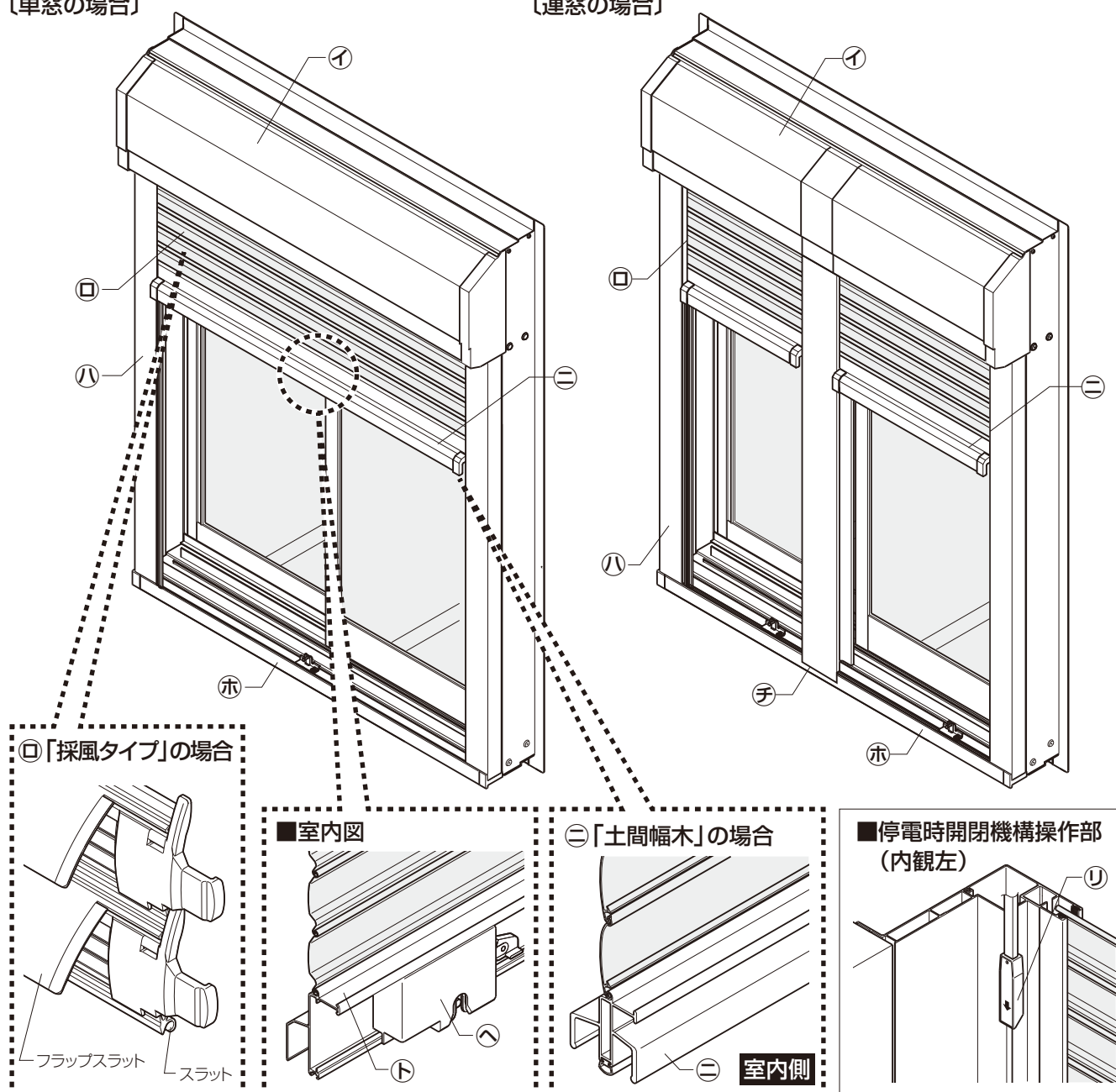
- ※標準・耐風タイプ:負荷を検出させた場合は、必ず上限もしくは下限まで作動させてください。
- ※採風タイプ:負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後にとめるボタンを押して異常解除をしてください。
- ※シャッターを閉めた状態でも、スラットの内側が濡れることがあります。これはスラットの表面に横向きの風雨があたった場合、スラットの表面から内側に水が伝わるためです。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- ※スラットの表面が、雨などに濡れていると開閉後にスラット内側に水滴が付くことがあります。これはシャッターを巻き上げると、スラットの表面と内側が重なるため表面に付いた水が内側に付くためです。
- ※開閉途中に引っ掛かるような動きをすることがあります。これは電動モーターの出力とシャッターのスラット重量を、巻取り軸に内蔵のスプリング力でバランスをとりながら開閉するという商品の特性上発生します。品質に問題ありませんので安心してお使いください。
- ※シャッターを閉めても各部のすき間から、外からの光が入ることがあります。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテンなどをご使用ください。
- ※シャッターを閉めた状態で、強風によりスラットがバタつき、音がしたりすることがありますが異常ではありません。
- ※シャッターの全開位置を補正するため、開閉サイクル10サイクルに1回または採風操作後に全開にすると幅木が本体内に引き込まれ少し下がります。
幅木の停止位置はシャッターサイズ等の違いにより異なります。品質に問題ありませんので安心してご使用ください。
- ※標準・耐風タイプ:通電中に手動開閉操作を行わないでください。設定位置がずれて途中で停止したり、反転することがあります。通電中に手動開閉操作を行い途中で停止した場合は上限まで、反転した場合はそのまま上限まで作動させてください。上限位置まで戻るとそのまま正常動作に戻ります。詳細はP.56を参照してください。
- ※採風タイプ:通電中に手動開閉操作を行わないでください。設定位置がずれて途中で停止したり反転したりすることがあります。通電中に手動開閉操作を行った場合はP.57を参照して復帰してください。
- ※風が強い場合は、サッシを閉めてから開閉操作を行ってください。シャッターが途中で停止するおそれがあります。
- ※プレッシャーリターンセンサーは一定の負荷を検出して、停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出し反転するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取除くと、スラットがずり落ちてくる場合がありますので、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてから障害物を取除いてください。
- ※シャッターを開ける際に、シャッターボックス内部より音がしますが異常ではありません。これはシャッターを巻き上げるとスラットが重なり巻かれる構造のためです。
- ※採風タイプ:フラップスラットを閉める前に異物等が挟まれていることを確認してください。異物が挟まれている場合は、シャッターを採風状態(シャッターが通気できる状態)にしてスラットの間をきれいにしてください。
- ※リモコンの無線、到達距離は約9mです。建物の状況によっては操作できない場合があります。また、近辺に強い電波を発する無線設備がある場合は、通信できない場合があります。その際は、ノイズを除去していただく対応が必要になります。
- ※スマートフォンアプリ「My Window」を使用して直接シャッターを操作する場合、電波の到達距離はスマートフォンの種類、機種によっても異なります。電波の届く範囲でご使用ください。
- ※スマートフォンアプリ「My Window」を使用して直接シャッターを操作する場合は、BLEの特性上、操作時に接続できるスマートフォンは1台となります。

各部のなまえとはたらき

※ここでは、本体の各部のなまえとはたらきを説明しています。

〔単窓の場合〕

〔連窓の場合〕



●各部のなまえとはたらき

記 号	なまえ	はたらき
①	シャッターボックス(点検口)	スラットおよびモーターなどを収納する部分です。モーターなどの点検口です。
㊦	スラット(フラップスラット)	カーテン部分です。(フラップスラットは採風用です。)※「採風タイプ」の場合。
㊨	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
㊩	幅 木	スラットの最下部で、防犯性を高める幅木ロックが組込まれています。
㊪	下 枠	底の部分で、雨水などを流します。
㊫	幅木ロック	おやすみや外出するとき使用します。
㊬	手掛け	手動開閉のとき使用します。
㊭	連窓方立	連窓中央部にあり、スラットの動きを誘導します。
㊮	操作ハンドル	停電時開閉機構の操作用です。

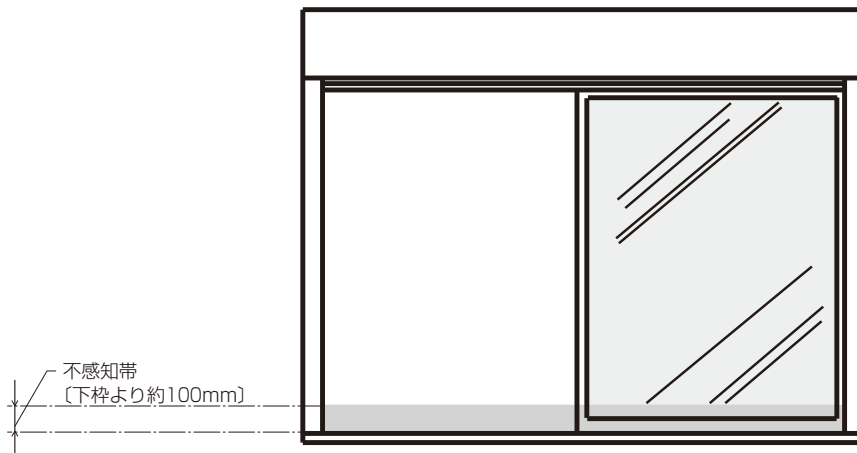
ご使用前の確認事項

プレッシャーリターンセンサーとは

- シャッター下降中、幅木が物を挟むと、シャッターは停止し、自動で反転上昇し全開します。
この機構をプレッシャーリターンセンサーといいます。

お願い

- プレッシャーリターンセンサーは一定の負荷を検出して、停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出し反転するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取り除くと、スラットがずり落ちてくることがありますので、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてから障害物を取り除いてください。
- 開口の下部はプレッシャーリターンセンサーが感知できない範囲（不感知帯〔下枠より100mm程度〕）が出る場合があります。この範囲に物がないことを確認してから作動させてください。



⚠ 注 意

- 開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちにとめるボタンを押してシャッターを停止させ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてから取り除いてください。取り除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
- ・標準・耐風タイプ：負荷を検出させた場合は、必ず上限もしくは下限まで作動させてください。
- ・採風タイプ：負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に、とめるボタンを押して異常解除してください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

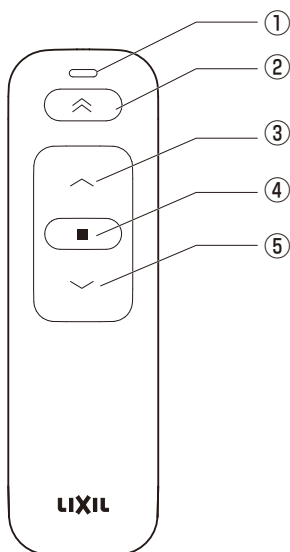
リモコンのなまえとはたらき

⚠ 注 意

- 「電動窓シャッター」は電波を利用する機器です。リモコンを植込み型医療機器に近づけないでください。
(医療機器の正常な作動を損なうおそれがあります。) 植込み型医療機器の取扱説明書または担当医師に確認してください。
- 高機能リモコンはマグネットホルダーのため、リモコン、ホルダーにマグネットを使用しております。
植込み型医療機器をお使いの方は、リモコンのマグネットを植込み型医療機器へ近づけないでください。(医療機器の正常な作動を損なうおそれがあります。) 植込み型医療機器の取扱説明書または担当医師に確認してください。

1

単機能リモコン



番 号	なまえ	はたらき
①	操作反応LED	・送信時に緑点灯します。 ・異常時に赤点滅します。
②	メモリ位置操作ボタン	・標準・耐風タイプ：メモリ位置操作に使用します。 ・採風タイプ：採風操作に使用します。
③	ひらくボタン	・シャッターが上昇します。
④	とめるボタン	・シャッターが途中停止します。
⑤	とじるボタン	・シャッターが下降します。

※付属の電池は短期間で消耗することがあります。

※採風タイプで単機能リモコンを使用する場合、メモリ位置登録、操作はできません。

採風タイプでメモリ位置登録、操作を行う場合は高機能リモコンをご使用ください。

※交換する電池は、単4型アルカリ乾電池（2本）を使用してください。

※電池交換後は操作反応LEDが2回緑点滅するまでお待ちください。（約10秒）
2回緑点滅するまで操作出来ません。

2

単機能リモコンのLED表示

■操作するときの表示

開・閉・メモリ位置 操作ボタン	送信している間 緑点灯																			
停止ボタン	送信している間 緑点灯																			

■お知らせするときの表示

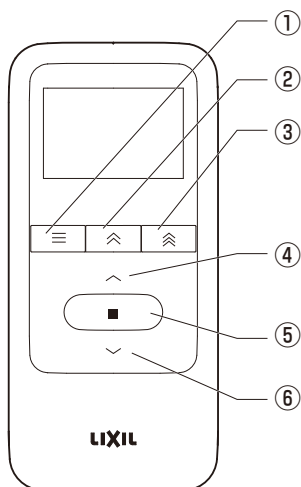
電池低下時	早い緑点滅で2秒間点滅する																			
過負荷反転時	早い赤点滅を繰り返す（反転動作が終わるまで、もしくは解除されるまで継続）																			
モータ故障時	赤点滅を10回繰り返す																			
受信機との通信不可時	2秒間緑点灯後赤点灯																			
ペアリング未設定時	ゆっくり赤点滅（3回点滅）																			

■メモリ位置登録時の表示

登録モード状態	ゆっくり緑点滅																			
メモリボタン	早い点滅で3秒間緑点滅する																			

3

高機能リモコン



番号	なまえ	はたらき
①	メニューボタン	・設定メニュー時に使用します。 (時刻設定、タイマー設定、チャンネル選択、メモリ位置設定)
②	採風操作ボタン	・標準・耐風タイプ：メモリ位置操作に使用します。 ・採風タイプ：採風操作に使用します。
③	メモリ位置操作ボタン	・標準・耐風タイプ：使用しません。 ・採風タイプ：メモリ位置操作に使用します。
④	ひらくボタン	・シャッターが上昇します。 ・設定時に選択操作をします。
⑤	とめるボタン	・シャッターが途中停止します。 ・設定時に決定操作をします。
⑥	とじるボタン	・シャッターが下降します。 ・設定時に選択操作をします。

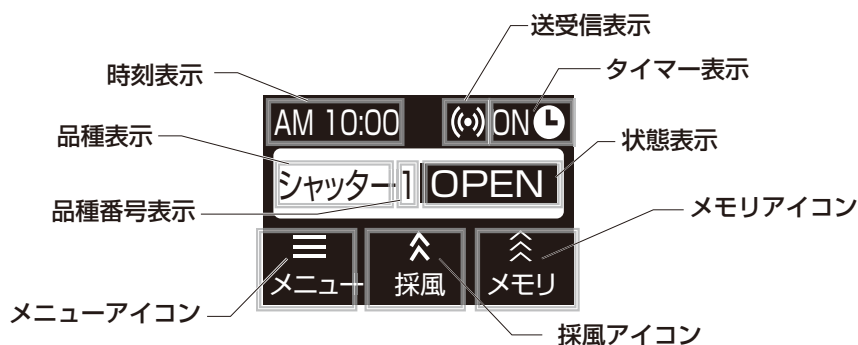
※付属の電池は短期間で消耗することがあります。

※交換する電池は、単4型アルカリ乾電池（2本）を使用してください。

※電池交換後は液晶が点灯するまでお待ちください。（約10秒）液晶が点灯するまでは操作できません。

4

高機能リモコンの液晶画面の表記について



表示名称	表示内容
時刻表示	時刻を AM・PM つきで 12 時間表示します。 時刻設定完了後に作動します。
送受信表示	送受信時に表示します。
タイマー表示	タイマー設定時に ON 表示します。
品種表示	品種名を表示します。 ペアリングがされていないときは「－＊－」が表示されます。
品種番号表示	品種番号を表示します。
状態表示	状態により表示されます。 ・上下限位置設定前「－＊－」 ・開操作中、シャッターが開いている時「OPEN」 ・シャッターが全閉時「CLOSE」 ・シャッターが採風時「採風中」
メニューアイコン	通常画面で常時「メニュー」を表示します。
採風アイコン	通常画面で常時「採風」を表示します。
メモリアイコン	通常画面で常時「メモリ」を表示します。

操作のしかた

※ここでは、[単機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

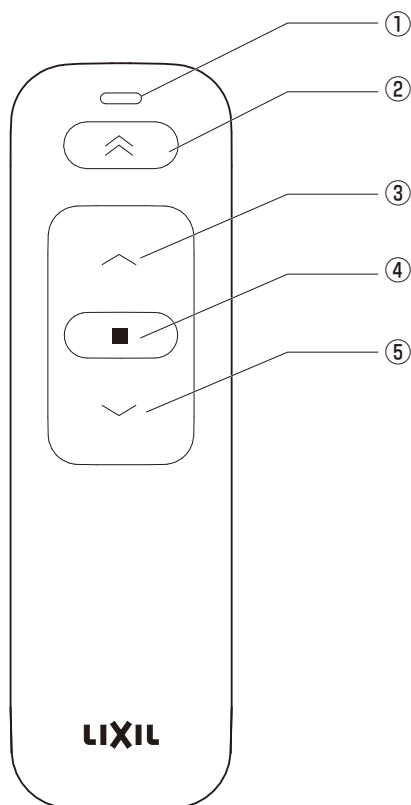
1

単機能リモコンの操作のしかた

！ 注 意

- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちにとめるボタンを押してシャッターを停止させ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてから取り除いてください。取り除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。
- ・標準・耐風タイプ：負荷を検出させた場合は、必ず上限もしくは下限まで作動させてください。
- ・採風タイプ：負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に、とめるボタンを押して異常解除してください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

単機能リモコンの操作のしかた



番 号	なまえ
①	操作反応LED
②	メモリ位置操作ボタン
③	ひらくボタン
④	とめるボタン
⑤	とじるボタン

■シャッターの開閉操作のしかた

【開ける場合】

- ひらくボタン③を押してください。
シャッターが上昇します。
送信中は操作反応LED①が緑点灯します。

【閉める場合】

- とじるボタン⑤を押してください。
シャッターが下降します。
送信中は操作反応LED①が緑点灯します。

【途中で止める場合】

- とめるボタン④を押してください。
シャッターが途中停止します。
送信中は操作反応LED①が緑点灯します。

【メモリ位置まで作動させる場合】

- メモリ位置操作ボタン②を押してください。
設定された位置まで作動します。
初期は上限に設定されています。
送信中は操作反応LED①が緑点灯します。
※採風タイプは、この操作はできません。

【採風タイプ：採風位置まで作動させる場合】

- メモリ位置操作ボタン②を押してください。
採風位置まで作動します。
送信中は操作反応LED①が緑点灯します。
採風タイプに単機能を使用する場合、メモリ位置操作はできません。

お願い

※電波が届いていない場合、ボタン操作後、操作反応LEDが緑点灯後、赤点灯に変わります。その場合は電波の届く位置までシャッターに近づいて操作してください。

※ここでは、[単機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

2

単機能リモコンの採風操作のしかた

■採風操作のしかた

●採風操作は、シャッターのどの位置からでも操作することができます。

※停電復帰後は採風操作をしても作動しません。停電復帰時が全閉状態の場合、全開後に採風操作できます。

全開もしくは途中停止状態の場合は、ひらくボタン③で全開後、とじるボタン⑤で全閉にしてください。その後採風操作ができます。

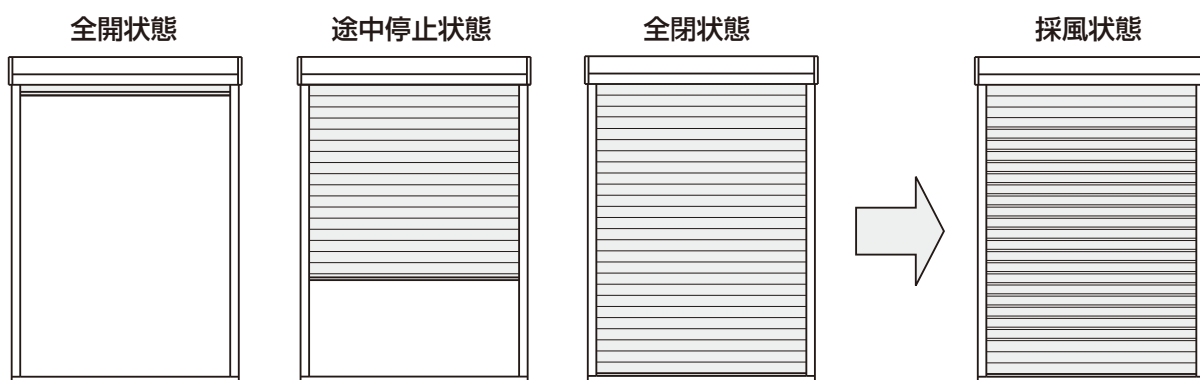
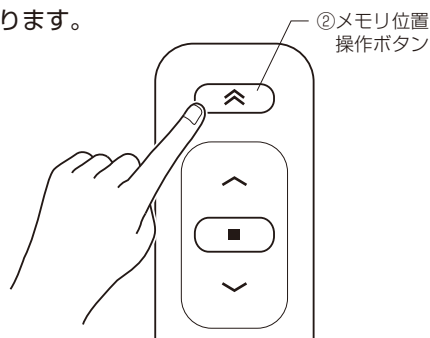
※採風状態からシャッターを全開にすることはできません。シャッターを全閉状態にしてから、ひらくボタン③を押してください。

メモリ位置を全開位置で登録している場合は、採風状態からメモリ位置操作で全開状態になります。

【採風状態にする場合】

●メモリ位置操作ボタン②を押してください。

シャッターが採風全開状態になります。

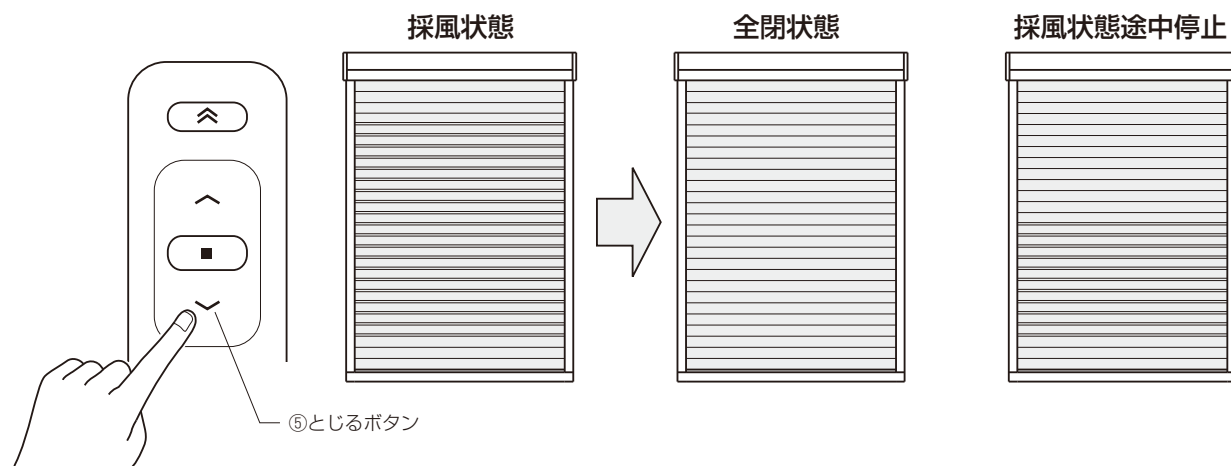


【採風状態での操作】

●とじるボタン⑤を押してください。

採風状態からフラップスラットが閉まりその後全閉状態になります。

途中でとめる場合は、とめるボタン④を押してシャッターを停止させます。



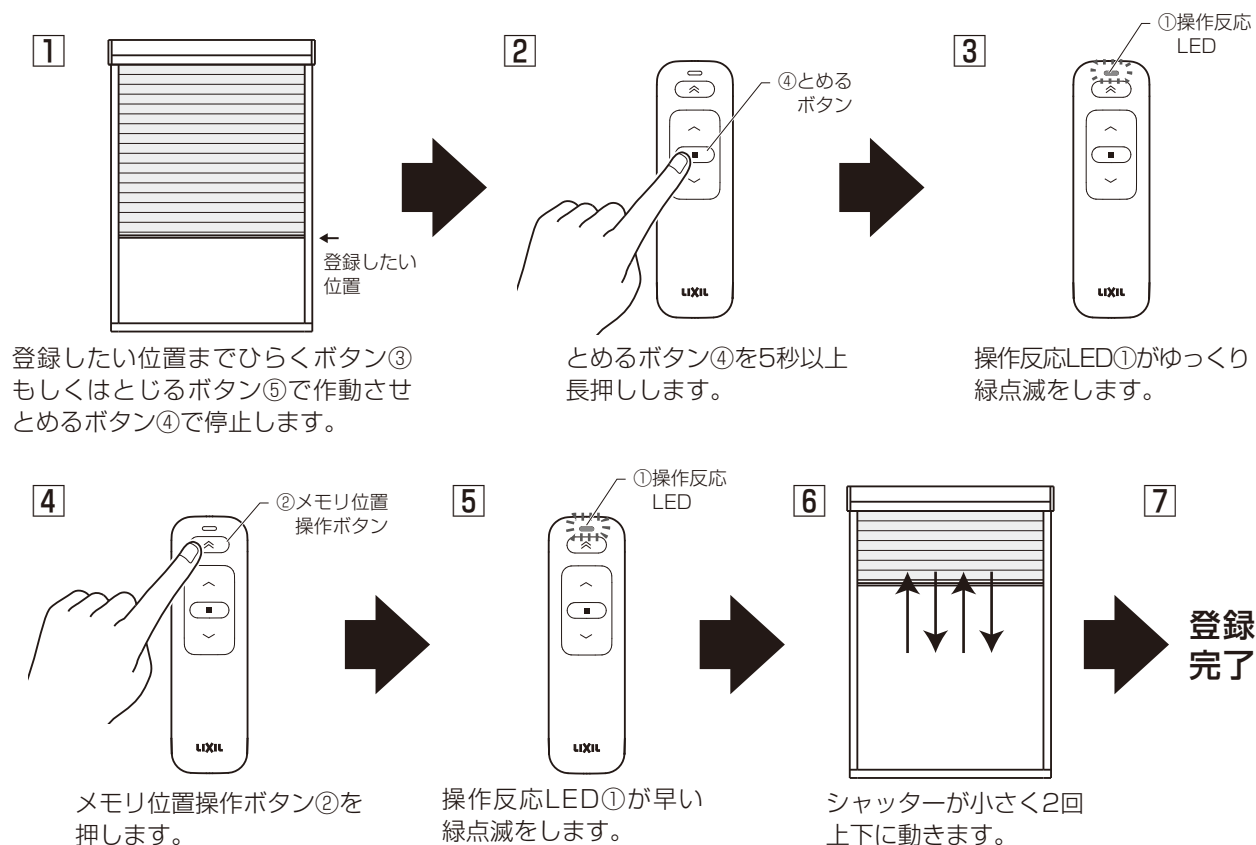
※ここでは、[単機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

3

単機能リモコン メモリ位置登録のしかた

※メモリ位置操作とは、任意の停止位置に設定することにより、ワンタッチで設定した位置にすることができます。
※出荷時 メモリ位置は全開状態になっています。
※採風タイプは、この操作はできません。

■操作方法



4

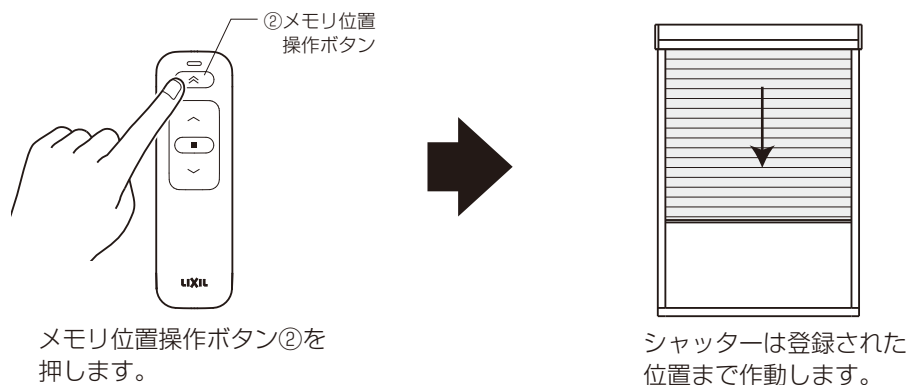
単機能リモコン メモリ位置操作のしかた

■メモリ位置操作の操作方法

※採風タイプは、この操作はできません。

●操作方法

メモリ位置操作ボタン②を押してください。
現在の位置から登録した位置まで作動します。
出荷時のメモリ位置は全開状態になっています。

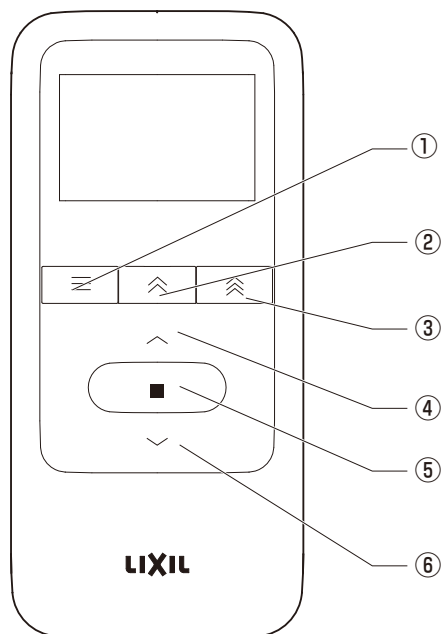


※ここでは、[高機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

5

高機能リモコンの操作のしかた

高機能リモコンの操作のしかた



番 号	なまえ
①	メニューボタン
②	採風操作ボタン
③	メモリ位置操作ボタン
④	ひらくボタン
⑤	とめるボタン
⑥	とじるボタン

■シャッターの開閉操作のしかた

【開ける場合】

- ひらくボタン④を押してください。
シャッターが上昇し「OPEN」表示になります。

【閉める場合】

- とじるボタン⑥を押してください。
シャッターが下降し、全閉時に「CLOSE」表示になります。

【途中で止める場合】

- とめるボタン⑤を押してください。
シャッターが途中停止します。
シャッターを全開、途中で止めた時は「OPEN」表示になります。

【採風位置まで動作させる場合】

- 採風操作ボタン②を押してください。
採風位置まで作動し「採風中」表示になります。

標準・耐風タイプ

【メモリ位置まで動作させる場合】

- 採風操作ボタン②を押してください。
登録された位置まで作動します。
出荷時メモリ位置は全開状態になっています。
※標準・耐風タイプでは、メモリ位置操作ボタン③は使用できません。
メモリ位置操作は採風ボタンで行います。

採風タイプ

【採風位置まで作動させる場合】

- 採風操作ボタン②を押してください。
採風位置まで作動します。

【メモリ位置まで動作させる場合】

- メモリ位置操作ボタン③を押してください。
登録された位置まで作動します。
出荷時はメモリ位置は全開状態になっています。

【タイマー設定など各種設定したい場合】

- メニューボタン①を押してください。
各種設定はP.20～24を参照してください。

■スリープモードについて

- 30秒以上操作がない場合、液晶画面が消灯します。
いずれかのボタンを1回押すとスリープモードから復帰します。この場合は信号は送信されません。
その後、通常に操作を行うことができます。

※ここでは、[高機能リモコン]の操作のしかたについて説明しています。

6

高機能リモコンの採風操作のしかた

■採風操作のしかた

●採風操作は、シャッターのどの位置からでも操作することができます。

※停電復帰後は採風操作をしても作動しません。停電復帰後が全閉状態の場合、全開後に採風操作できます。

全開もしくは途中停止状態の場合は、ひらくボタン④で全開後、とじるボタン⑥で全閉にしてください。その後採風操作ができます。

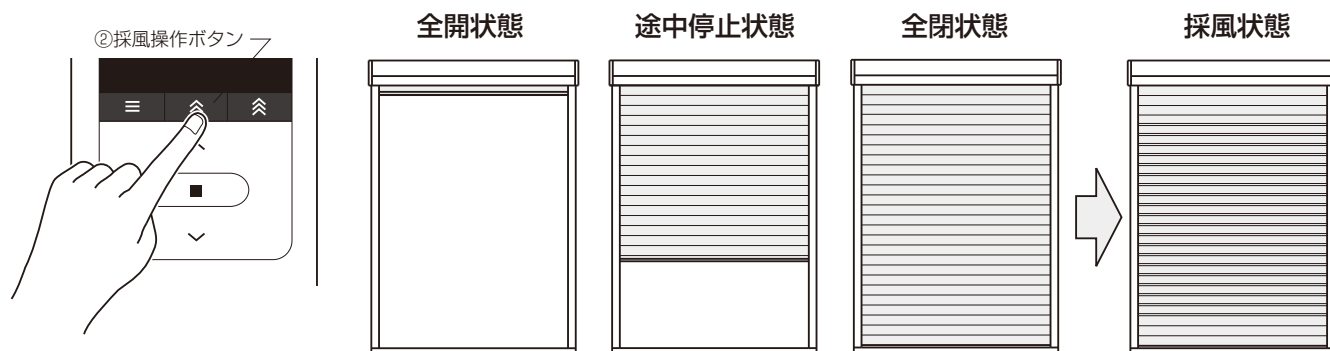
※採風状態からシャッターを全開にすることはできません。シャッターを全閉状態にしてから、ひらくボタン④を押してください。

メモリ位置を全開位置で登録している場合は、採風状態からメモリ位置操作で全開状態になります。

【採風状態にする場合】

●採風操作ボタン②を押してください。

シャッターが採風全開状態になります。

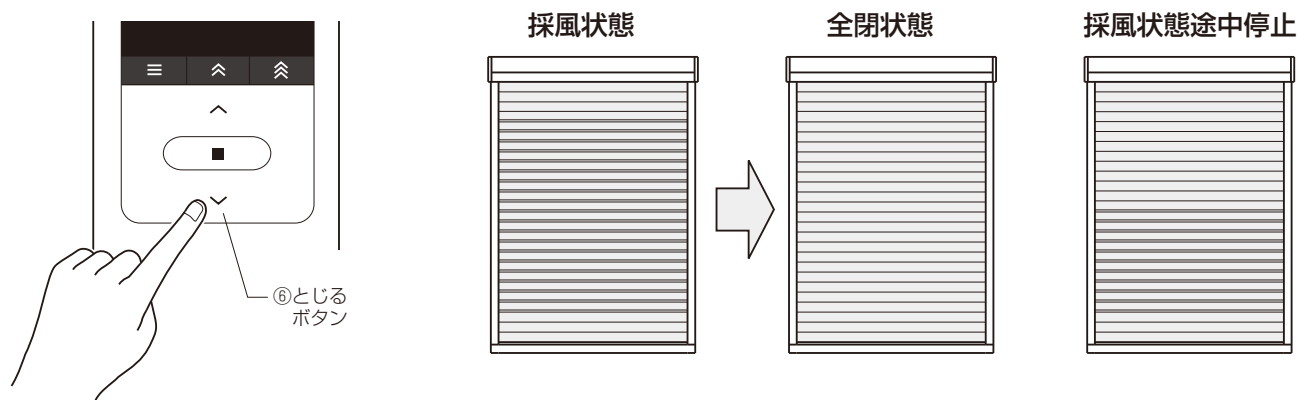


【採風状態での操作】

●とじるボタン⑥を押してください。

採風状態からフラップスラットが閉まりその後全閉状態になります。

途中でとめる場合は、とめるボタン⑤を押してシャッターを停止させます。



※ここでは、[高機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

7

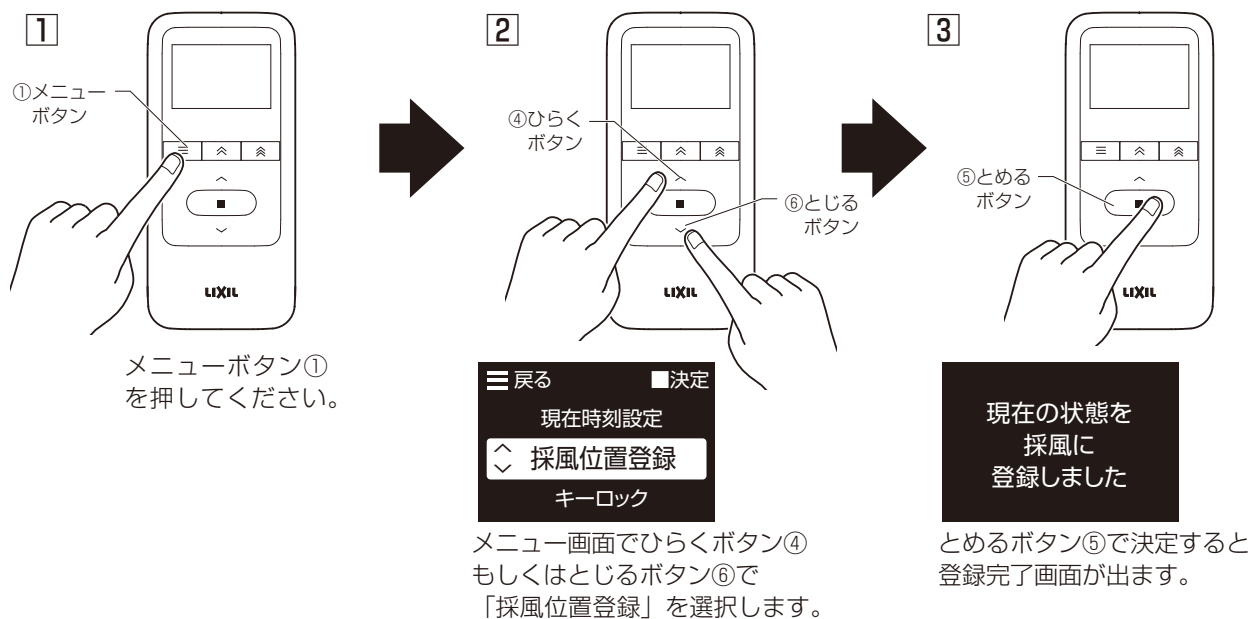
標準・耐風タイプ 高機能リモコン メモリ位置登録のしかた

※出荷時 メモリ位置は全開状態になっています。

■登録方法

※標準・耐風タイプのメモリ位置は「採風位置登録」で行います。

メモリ位置登録は標準・耐風タイプでは使用できません。



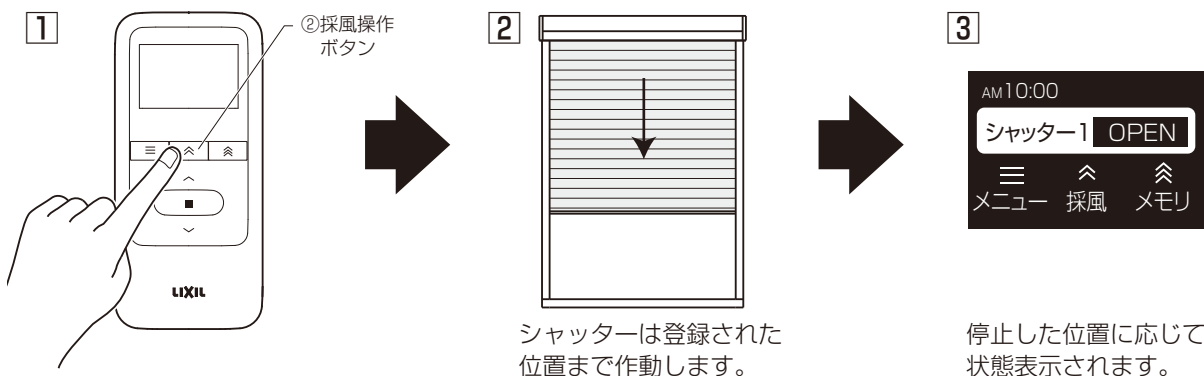
8

標準・耐風タイプ 高機能リモコン メモリ位置操作のしかた

■操作方法

●採風操作ボタン②を押してください。

現在の位置から登録した位置まで作動します。
出荷時のメモリ位置は全開状態になっています。



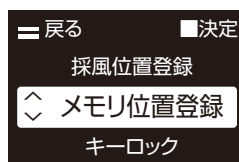
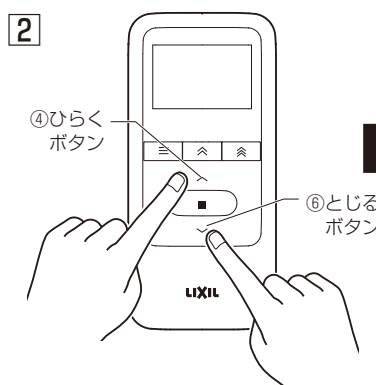
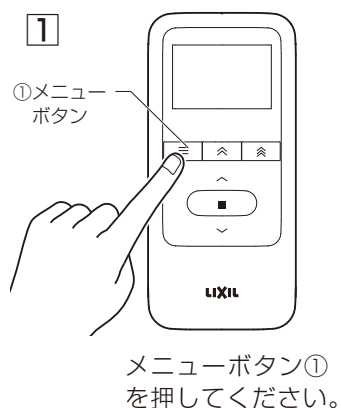
※ここでは、[高機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

9

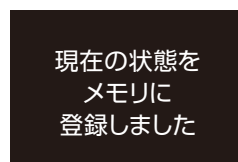
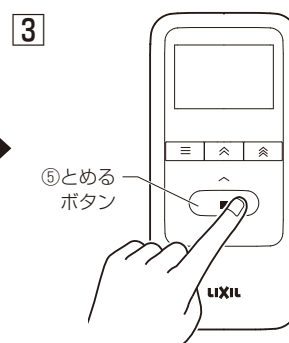
採風タイプ 高機能リモコン メモリ位置登録のしかた

※出荷時 メモリ位置は全開状態になっています。

■登録方法



メニュー画面でひらくボタン④
もしくはとじるボタン⑥で
「メモリ位置登録」を選択します。



とめるボタン⑤で決定すると
登録完了画面が出ます。

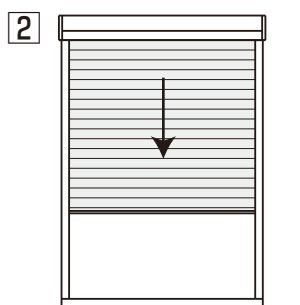
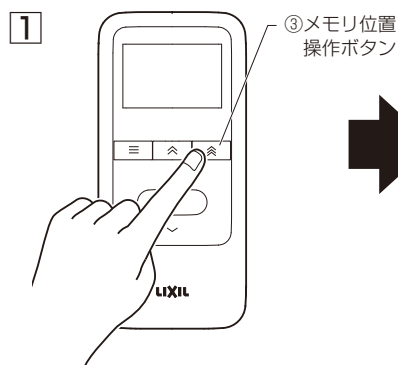
10

採風タイプ 高機能リモコン メモリ位置操作のしかた

■操作方法

- メモリ位置操作ボタン③を押してください。

現在の位置から登録した位置まで作動します。
出荷時のメモリ位置は全開状態になっています。



停止した位置に応じて
状態表示されます。

※ここでは、[高機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

11 高機能リモコン 品種番号選択のしかた

※ここでは、1 台のリモコンでの品種番号選択について説明します。

■品種番号選択のしかた

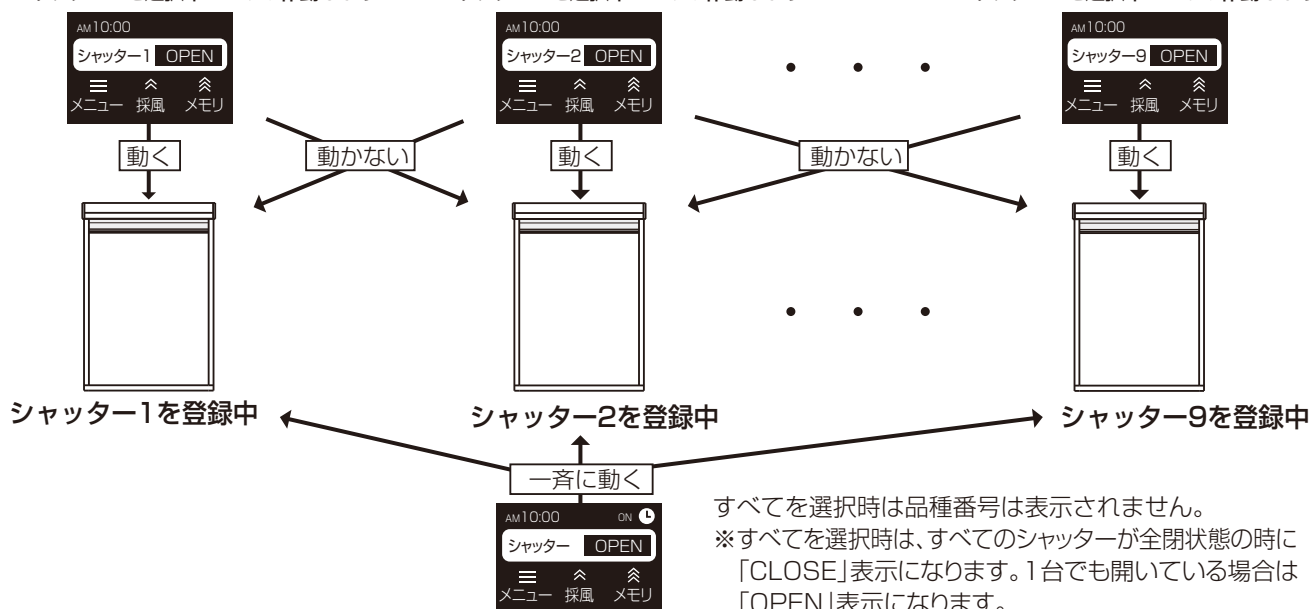
高機能リモコンに最大9台のシャッターを登録することができます。

1 番～9 番まで品種番号があり、個別操作と登録されているシャッター（最大9台）を一斉に操作することができます。

シャッター1を選択中は1のみ作動します

シャッター2を選択中は2のみ作動します

シャッター9を選択中は9のみ作動します



手 順	使用するボタンと操作方法	液晶表示
1	ホーム画面からメニューボタン を押します。 LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押してLCD画面を起動してください。信号は送信されません。	
2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン もしくはとじるボタン で「窓を選択」を選択します。	
3	とめるボタン で決定します。 品種選択画面が表示されますのでひらくボタン もしくはとじるボタン で「シャッター」を選択します。	
4	とめるボタン で決定します。 番号選択画面が表示されます。	
5	番号選択画面でひらくボタン もしくはとじるボタン で任意の番号を選択します。	
6	とめるボタン で決定します。 確認画面が表示されます。	
7	設定完了画面表示 3 秒後にホーム画面に戻ります。	

※複数台、個別操作時に通信ができなかった場合、「通信できませんでした」の表示がされます。
その場合、状態表示が「-*」になります。通信できる距離までシャッターに近づいて操作してください。

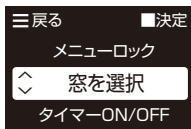
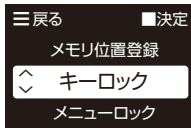
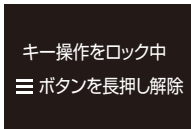
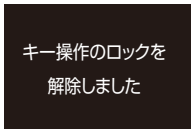
※ここでは、[高機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

12

高機能リモコン キーロック、メニューロック操作のしかた

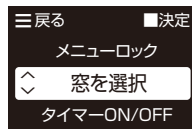
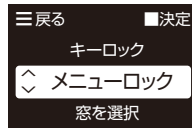
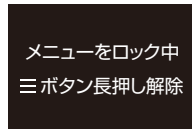
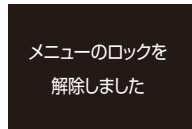
■キーロックの設定・解除方法

キーロック中はすべてのボタンが無効になり、
押しても反応しません。

手順	使用するボタンと操作方法	液晶表示
1	ホーム画面からメニューボタン  を押します。 LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押してLCD画面を起動してください。 信号は送信されません。	
2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン  もしくは とじるボタン  で 「キーロック」を選択します。	
3	とめるボタン  で決定します。 キー操作ロック画面が表示されます。 すべてのボタンが無効になります。	
4	キー操作ロック画面でメニューボタン  を 長押しします。 キー操作ロックが解除されます。	
5	キー操作ロック解除画面が表示され、すべてのボタンが有効になります。	
6	キー操作ロック解除画面表示 3秒後にホーム画面に戻ります。	

■メニューロックの設定・解除方法

メニューロック中はメニューボタンが無効になり、
押しても反応しません。
その他のボタンは使用できます。

手順	使用するボタンと操作方法	液晶表示
1	ホーム画面からメニューボタン  を押します。 LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押してLCD画面を起動してください。 信号は送信されません。	
2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン  もしくは とじるボタン  で 「メニューロック」を選択します。	
3	とめるボタン  で決定します。 メニュー操作ロック画面が表示されます。 メニューボタンが無効になります。	
4	メニュー操作ロック画面でメニューボタン  を 長押しします。 メニュー操作ロックが解除されます。	
5	メニュー操作ロック解除画面が表示され、メニューボタンが有効になります。	
6	メニュー操作ロック解除画面表示 3秒後にホーム画面に戻ります。	

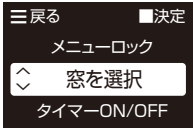
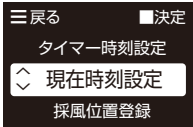
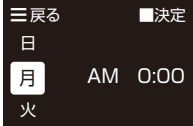
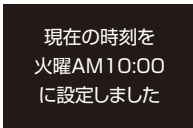
※ここでは、[高機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

13

高機能リモコン 時刻設定のしかた

■時刻の設定

※時計精度は日差±2秒です。取付環境でも精度は変わりますので、定期的に時計合わせを行ってください。

手 順	使用するボタンと操作方法	液晶表示
1	ホーム画面からメニューボタン  を押します。 LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押して LCD画面を起動してください。信号は送信されません。	
2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン  もしくは とじるボタン  で「現在時刻設定」を選択します。	
3	とめるボタン  で決定します。 曜日選択画面になります。	
4	ひらくボタン  もしくはとじるボタン  で現在の曜日を選択しとめるボタン  で決定します。 時刻の時側選択画面に移ります。	
5	ひらくボタン  もしくはとじるボタン  で現在の時刻を選択しとめるボタン  で決定します。 時刻の分側選択画面に移ります。	
6	ひらくボタン  もしくはとじるボタン  で現在の時刻の分側を選択しとめるボタン  で決定します。	
7	設定完了画面が表示されます。	
8	設定完了画面表示 3秒後に通常画面に戻ります。	

※ここでは、[高機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

14

高機能リモコン タイマー時刻設定のしかた

■タイマー時刻設定のしかた

●タイマーとは、毎日同じ時間、または各曜日ごとの設定が可能で、開・閉・メモリ位置・採風位置まで作動する機能です。開・閉・メモリ・採風のタイマー設定は個別に登録も可能です。

例) ●毎日タイマー設定する場合
毎日AM7:00に開、PM6:00に閉

●各曜日ごとに設定する場合
月曜日にAM7:00開、PM6:00閉
火曜日にAM6:00開、PM7:00閉

※採風は、採風タイプのみ設定可能です。

月曜日にAM7:00開、PM1:00採風、PM6:00閉

※タイマー作動させたい場合は、メニュー選択画面で「タイマーON/OFF」設定を「ON」にしてください。

タイマー時刻設定内を「ON」にしても作動しません。

※開・閉・メモリ・採風タイマーを同時刻に設定することはできません。同時刻に設定した場合、

「同じ時刻に別の動作が設定されています」表示が出ます。

※時計精度は日差±2秒です。取付環境でも精度は変わりますので、定期的に時刻合わせを行ってください。

※採風状態から全開位置はできません。メモリ位置に全開位置が登録されている場合はメモリタイマーで全開状態にできます。

※タイマー操作は品種番号で選択したシャッターが作動します。すべてを作動させたい場合は、品種番号選択で「すべて」を選択してください。

※複数のシャッターがある場合、個別にタイマー設定することはできません。

タイマー選択以降はひらくタイマー、とじるタイマー、採風タイマー、メモリタイマーの設定方法は同じです。

手順	使用するボタンと操作方法	液晶表示	手順	使用するボタンと操作方法	液晶表示
1	ホーム画面からメニューボタン を押します。LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押してLCD画面を起動してください。信号は送信されません。		8	ひらくボタン もしくはとじるボタン でON/OFFを選択します。 ON : 指定曜日、時刻に作動させる。 OFF : 指定曜日、時刻は設定するが作動させない。	
2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン もしくはとじるボタン で「タイマー時刻設定」を選択します。		9	とめるボタン で決定します。 時刻の時側選択に移ります。	
3	とめるボタン で決定します。 タイマー選択画面になります。		10	ひらくボタン もしくはとじるボタン で任意時刻の時側を選択します。	
4	ひらくボタン もしくはとじるボタン で任意のタイマーを選択します。 の順に表示されます。		11	とめるボタン で決定します。 時刻の分側選択に移ります。	
5	とめるボタン で決定します。 曜日・時刻選択画面になります。		12	ひらくボタン もしくはとじるボタン で任意時刻の時側を選択します。	
6	ひらくボタン もしくはとじるボタン で曜日を選択します。 毎日: 毎日指定した時間に作動します。 曜日指定: 指定した曜日の指定した時間に作動します。 ※1回の設定で1つの曜日しか指定できません。		13	とめるボタン で決定します。 設定完了画面が表示されます。	
7	とめるボタン で決定します。 ON/OFF選択に移ります。		14	設定完了画面表示 3秒後に通常画面に戻ります。 ※各曜日でタイマー設定する場合は、手順1に戻って各曜日の設定を行ってください。	

※ここでは、[高機能リモコン] の操作のしかたについて説明しています。

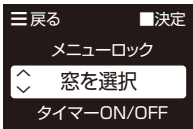
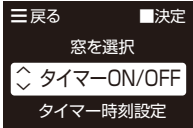
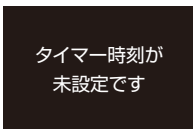
15 高機能リモコン タイマー作動設定のしかた

■タイマー作動設定のしかた

※タイマー作動設定とは、タイマー機能を「ON/OFF」します。タイマー時刻設定をしてもタイマー作動設定を「ON」にしないとタイマー作動しません。

※タイマー設定時刻は、高機能リモコンに登録され、設定時刻になると高機能リモコンからシャッターへ操作信号が送信されます。

※タイマー作動するシャッターは、液晶画面に表示されている品種番号のシャッターです。品種番号「1」を選択中は「1」のシャッターしかタイマー作動しません。「すべて」を選択中は、登録してあるシャッターがタイマー作動します。複数のシャッターを登録してある場合、個別にタイマー設定はできません。

手 順	使用するボタンと操作方法	液晶表示
1	ホーム画面からメニューボタン  を押します。 LCD画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押してLCD画面を起動してください。信号は送信されません。	
2	メニュー画面が表示されますのでひらくボタン  もしくはとじるボタン  で「タイマーON/OFF」を選択します。	
3	とめるボタン  で決定します。 タイマーON/OFF選択画面になります。	
4	ひらくボタン  もしくはとじるボタン  で「タイマーON」を選択します。	
5	とめるボタン  で決定します。 タイマー設定完了画面が表示されます。	
6	設定完了画面表示3秒後に通常画面に戻ります。 右上に「タイマー表示」がされます。	
7	とめるボタン  で決定後「タイマー時刻が未設定です」と表示された場合は「現在時刻設定」がされていないもしくは「タイマー時刻設定」内のON/OFF設定がすべて「OFF」になっていますので再度設定を行ってください。	

※ここでは、[単機能リモコン、高機能リモコン]の操作のしかたについて説明しています。

16

追加リモコンの登録方法

- 追加オプションの「単機能リモコン」は、リモコン1台で複数台のシャッターを同時に操作するリモコンです。電波の届く範囲で10台まで登録できます。
 - 追加オプションの「高機能リモコン」は、リモコンで複数台のシャッターを同時または個別に選択して操作するリモコンです。電波の届く範囲で9台まで登録できます。
- ※必ずシャッター1台ずつ登録を行ってください。
- ※1台のシャッターにはリモコンとLife Assist2合わせて最大4台まで登録できます。

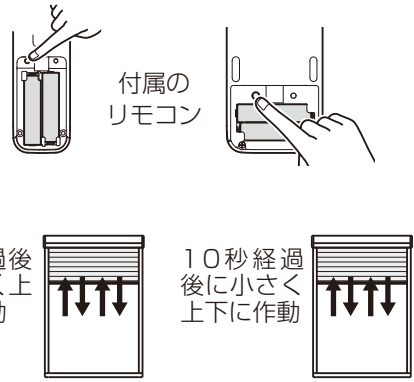
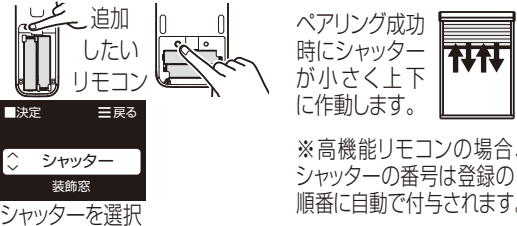
お願い

シャッターに同梱されている付属の「単機能リモコン」を複数台のシャッターに登録することは絶対におやめください。シャッター「全開/全閉」位置の調整、メモリ位置設定、停電時開閉機構使用後の復帰操作ができなくなります。これはシャッター1台ずつのメンテナンスができなくなることやリモコン、スマートフォンの追加登録する場合に登録したいシャッターを選択して登録できなくなるなど防止しています。

「付属のリモコン」が「高機能リモコン」で、すでに複数台のシャッター登録がある場合は、「高機能リモコン」で操作したいシャッター番号にして行ってください。

付属のリモコン	追加できるリモコン	できること
単機能リモコン	単機能リモコン・高機能リモコン	単機能リモコン:複数台登録、一斉操作
高機能リモコン	単機能リモコン・高機能リモコン	高機能リモコン:複数台登録、一斉操作、個別操作、タイマー操作

●追加リモコンを登録する方法

手順	使用するボタンと操作のしかた	
1	付属のリモコンと追加登録したいリモコンを準備します。	
2	付属のリモコンが高機能リモコンの場合 登録したいシャッターの品種番号を表示してください。 「すべて」を選択している時は、追加登録ができません。 シャッター1に登録したい場合は、「シャッター1」の表示を選択してから追加登録を行ってください。	 「シャッターすべて」を選択中は、シャッターのあとに数字がありませんので「シャッター1」に追加リモコンを登録したい場合は「シャッター1」を選択してから登録を行ってください。選択方法はP.20「品種番号選択のしかた」を参照してください。
3	付属のリモコンの電池フタを開け、左側「ペアリングボタン」を10秒以上押します。ペアリングボタンを押してから5秒経過後と、10秒経過後にシャッターが小さく上下に作動します。10秒経過後の2回目の作動でペアリングボタンを離してください。シャッターがペアリングモードに入ります。指を離すと再度シャッターが小さく上下に動きます。ペアリング完了時、もしくはペアリング信号を2分間受信しない場合は通常モードへ移行します。 ※10秒経過しないうちにペアリングボタンを離してしまった時は、2分経過後から再度行なってください。 ※シャッターが小さく上下に2回動いたことを確認し、ペアリングボタンから指を離してください。 ※シャッターが小さく上下に2回動く前に、ペアリングボタンから指を離してしまった場合は、30秒以上待ち、はじめからやり直してください。 ※シャッターが小さく上下に2回動いている最中にペアリングボタンから指を離してしまった場合は2回目の小さく上下に2回動く動作を行わない場合がありますが、登録は可能ですので作業を進めてください。	 付属のリモコン 5秒経過後に小さく上下に作動 10秒経過後に小さく上下に作動
4	追加登録したいリモコンの電池フタを開け、ペアリングボタンを1回押します。 ペアリングが成功するとシャッターが小さく上下に作動します。 ※高機能リモコンの場合は、ペアリングボタンを押した後に液晶画面でシャッターを選択し、とめるボタンを押して決定してください。	 追加したいリモコン ペアリング成功時にシャッターが小さく上下に作動します。 ※高機能リモコンの場合、シャッターの番号は登録の順番に自動で付与されます。

※高機能リモコンの場合、スリープモードからの復帰後は、すぐにペアリングボタンを押してください。

30秒後にスリープモードに入ります。スリープモード状態ではペアリングができません。

※スリープモード状態でペアリングボタンを押した場合、1回目の押下でスリープモード状態から復帰します。

再度ペアリングボタンを押してください。

※ペアリングボタンを押す時に、表のボタンを押さないようにしてください。ペアリングができなくなってしまう。

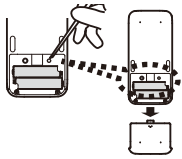
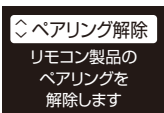
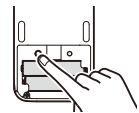
※ここでは、[単機能リモコン、高機能リモコン]の操作のしかたについて説明しています。

17

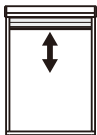
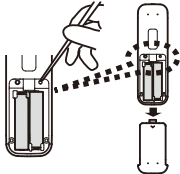
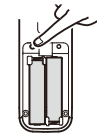
追加リモコンの登録解除方法

※リモコンの登録解除は、リモコン、シャッター両方の登録解除を行います。 付属のリモコンの登録解除は行わないでください。メンテナンスなどができなくなります。電波が届かない場所で行うと、リモコンの登録情報のみ解除され、シャッターには登録情報が残ってしまいます。登録解除を行うまえに、リモコンでシャッターが操作できるか確認してください。高機能リモコンはシャッターとの登録を個別に1台ずつ解除します。単機能リモコンは登録されているシャッターが一斉に解除されます。

■高機能リモコンの登録解除方法

手順	使用するボタンと操作のしかた	
1	登録を解除したい追加リモコンでシャッターが作動するか確認します。(電波が届いているか確認します。)	
2	高機能リモコンの電池フタを開け、右側の「設定ボタン」を3秒以上押します。指では押せません。先の細い物で押してください。	
3	液晶画面がメンテナンス画面に変わり「ペアリング解除が表示されます。」	
4	とめるボタン⑤を1回押します。	
5	シャッターを選択し、とめるボタンを一回押し決定します。	
6	登録されているシャッターの番号が表示されます。ひらくボタン④、とじるボタン⑥で登録解除したいシャッターを選択します。	
7	とめるボタン⑤を1回押し決定します。	 
8	高機能リモコンの電池ケース内、左側の「ペアリングボタン」を1回押します。	
9	シャッターが小さく上下に動き高機能リモコン、シャッター両方の登録が解除完了となります。(採風タイプではシャッターは作動しません。)	
10	登録されているシャッターすべてを解除したい場合は、解除操作を繰り返してください。	

■単機能リモコンの登録解除方法

手順	使用するボタンと操作のしかた	
1	登録を解除したい追加リモコンでシャッターが作動するか確認します。(電波が届いているか確認します。)	
2	単機能リモコンの電池フタを開け、右側の「設定ボタン」を3秒以上押します。指では押せません。先の細い物で押してください。	
3	操作反応 LED ①がゆっくり緑点減します。	
4	単機能リモコンの電池ケース内、左側の「ペアリングボタン」を1回押します。	
5	シャッターが小さく上下に動き単機能リモコン、シャッター両方の登録が解除完了となります。(採風タイプではシャッターは作動しません。)	
6	登録されているシャッターすべてが解除されます。	

※ここでは、[単機能リモコン、高機能リモコン]の操作のしかたについて説明しています。

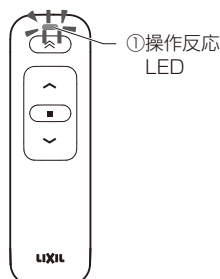
18

リモコンの電池消耗時の表示について

- 電池消耗時の表示が出た場合は、すみやかに新品の電池と交換してください。
(同梱されている電池は、短期間で消耗することがあります。)

■単機能リモコン

操作ボタンを押した時に、操作反応LED①が早い緑点滅をします。



■高機能リモコン

消灯画面から、いずれかのボタンを押して起動させた時に電池消耗時の表示が出ます。



電池残量が少なくなりました
電池交換してください

高機能リモコンの電池交換はすみやかに行ってください。電池を抜いてしばらくすると時刻がリセットされ再設定が必要になります。

単機能リモコン、高機能リモコンで使用する電池は単4型アルカリ乾電池(2本)です。



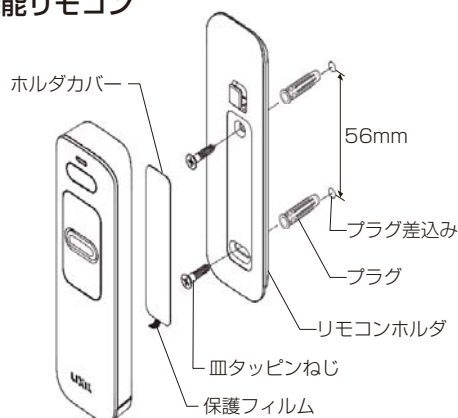
19

リモコンホルダー設置について

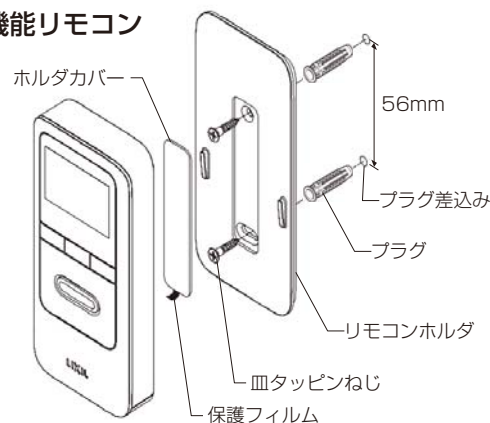
■単機能リモコン／高機能リモコン リモコンホルダ取付け方法

- 1) リモコンホルダの取付け位置を決めてください。
 - ・シャッターから見通し9m以内にしてください。
 - ・お子様の手の届かない高い位置に取付けてください。
 - ・取付け前にシャッターの操作が可能なることをご確認ください。
 - ・シャッターの開閉が見えない場所には設置をしないでください。
- 2) 取付け位置に合わせてφ4の穴をあけてプラグを差し込みます。
- 3) ホルダの上から同梱ねじ(皿タッピンねじφ3×30)をねじ締めします。
 - ・ねじの締めすぎにご注意ください。締めすぎるとリモコンがホルダにきちんと納まらなくなります。
- 4) ホルダカバー裏側についている両面テープの保護フィルムを剥がし凹分に取付けてください。
※張付けると取れなくなりますので、リモコンの取付け位置などよくご検討してから取付けてください。

●単機能リモコン

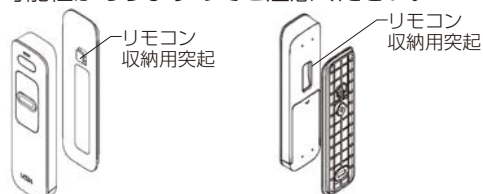


●高機能リモコン

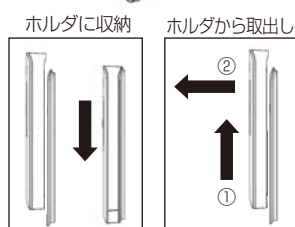


■単機能リモコンの収納方法

単機能リモコンをリモコンホルダに収める時、単機能リモコンの裏側にある溝にリモコンホルダの突起を引っ掛けて収めます。きちんと引っ掛けないと落下する可能性がありますのでご注意ください。



上側にずらしてリモコン裏側の溝にホルダの突起を入れます。その後、下側にずらすとホルダの突起が溝に収まります。取る時は、上にずらしてから取出します。

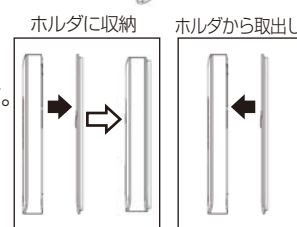


■高機能リモコンの収納方法

高機能リモコンとリモコンホルダは磁石で取付きます。高機能リモコン裏側の溝とホルダの突起を合わせてください。きちんと引っ掛けないと落下する可能性がありますのでご注意ください。



リモコン裏側の溝にホルダの突起を入れます。磁石で取付けます。



スマートフォンアプリ「My Window」について

1

スマートフォンアプリ「My Window」のインストール

専用アプリ「My Window」をインストールすると、お手持ちのスマートフォンで、シャッターを開閉したり、開閉状態を確認することができます。

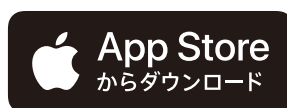
「My Window」でシャッターを直接動かす場合は「My Window」の設定画面にて「変換アダプタ使用」を「OFF」にしてからご使用ください。「OFF」にしない場合「My Window」の信号を受け付けなくなってしまいます。

「My Window」の設定についてはP.29を参照してください。



専用アプリ「My Window」

二次元バーコードを読み取りダウンロードページにアクセスできます。
アプリストアから検索する場合は「My Window」と検索してください。



●アプリケーション動作環境

	OSバージョン
iOS	10以上
Android	6以上

※App Store、App Storeロゴは、Apple Inc.のサービスマークです。

※iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または、登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

※Google PlayおよびGoogle Playロゴ、Androidは、Google LLCの商標です。

※利用規約をよくお読みになり、ご了解のうえでご使用ください。本アプリはスマートフォン向けの専用アプリです。PCなどには対応しておりません。

※すべてのスマートフォンに対して動作を保証するものではありません。スマートフォンによっては動作が不安定になることや動作しない場合があります。

2

高性能リモコン、単機能リモコン、スマートフォンアプリ「My Window」でできること

	標準・耐風タイプ 付属の単機能 リモコン	採風タイプ 付属の高性能 リモコン	採風タイプ 付属の単機能 リモコン	追加オプション 高性能リモコン	追加オプション 単機能リモコン	「My Window」 OS : iOS	「My Window」 OS : Android
						iOS	Android
シャッター登録可能台数	-	9台	-	9台	10台	(24台)※1	(24台)※1
開閉操作	○	○	○	○	○	○	○
メモリ位置登録	○	○	×	○	○	×	×
メモリ位置操作	○	○	×	○	○	○	○
採風位置登録	-	○	○	○	○	×	×
採風位置操作	-	○	○	○	○	○	○
品種番号選択(個別操作)	×	○	×	○	×	○	○
シーン操作(一斉操作)	×	○	×	○	○	○	○
キーロック	×	○	×	○	×	×	×
メニューロック	×	○	×	○	×	×	×
時刻設定	×	○	×	○	×	-	-
タイマー設定	×	○	×	○	×	×	×
停電後復帰操作	○	○	○	○	○	×	×
異常解除操作	○	○	○	○	○	×	×
リモコン・アプリの登録解除	×	○	×	○	○	○	○

- ・スマートフォンの種類、機種によっても電波の届く範囲が異なります。電波の届く範囲でご使用ください。
- ・スマートフォンアプリ「My Window」ではメモリ位置・採風位置の登録はできません。登録する場合は同梱リモコンをご使用ください。
- ・停電後復帰操作、異常解除操作はスマートフォンアプリ「My Window」ではできません。同梱リモコンもしくは追加リモコンで操作してください。
- ・スマートフォンアプリ「My Window」では、スマートフォン2台を同時に使用することはできません。操作したい場合、シャッターと接続している他のスマートフォンアプリ「My Window」を閉じてからご使用ください。

※1 登録は24台までできますが、シーン操作では操作できる台数が変わります。詳細はP.39を参照ください。

・登録は24台までできますが、シャッターと電動窓合わせて24台です。

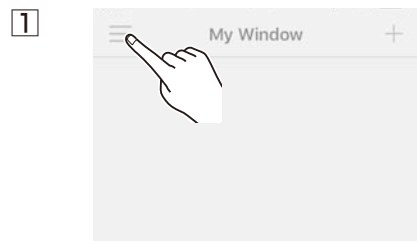
3

シャッターの登録について

■設定確認

※iOSを例に説明します。

スマートフォンアプリ「My Window」でシャッターと登録を行う前に設定確認をしてください。



「My Window」を立ち上げてホーム画面を表示します。画面左上のメニューボタンをタップします。メニュー画面が表示されます。



メニュー画面の「設定」をタップします。設定画面が表示されます。



「変換アダプタ使用」がOFFになっていることを確認してください。画面左上「×」ボタンをタップしメニュー画面に戻ります。



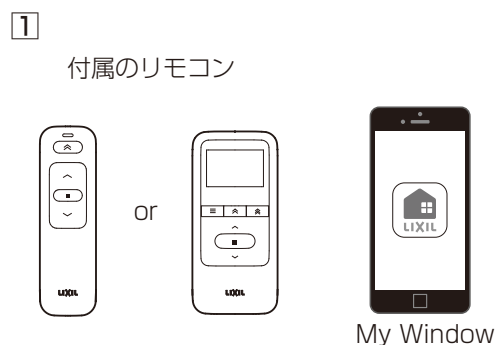
メニュー画面を左にスワイプしホーム画面に戻ります。

■シャッター登録

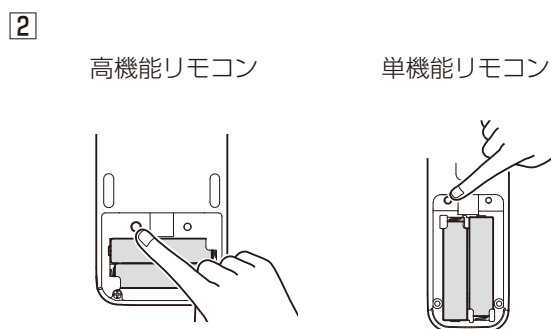
※iOSを例に説明します。

※1台のシャッターに、スマートフォン最大6台まで登録できます。

スマートフォンアプリ「My Window」でシャッターを操作するには、シャッターと登録をする必要があります。



付属の高機能リモコンもしくは単機能リモコンと「My Window」をインストールしたスマートフォンを準備します。



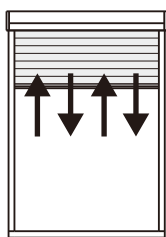
付属の高機能リモコンもしくは単機能リモコンの電池フタを開け、左側のペアリングボタンを5秒以上押し続けます。

10秒以上は押し続けしないでください。

※5秒経過しないうちにペアリングボタンを離してしまった場合、もしくは10秒以上押し続けてしまった場合は、2分経過してから再度行ってください。

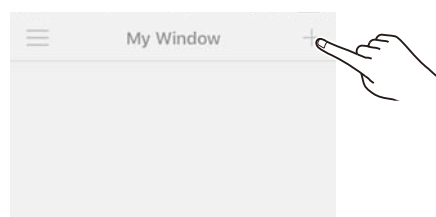
■シャッター登録(つづき)

3



5秒経過後にシャッターが小さく上下に作動したらペアリングボタンを離します。
ペアリングモードに入ります。

4



スマートフォンアプリ「My Window」を立ち上げ、右上の「+」ボタンをタップします。

5



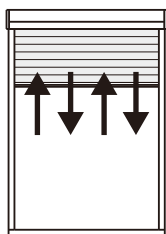
登録可能なシャッターが表示されます。
登録したいシャッターをタップしてください。

6



登録確認画面が出ますので「ペアリング」をタップします。Android端末の場合「ペアリングの要求」画面が表示されません。画面右上の「保存」をタップしてください。タップしてペアリングが完了するとシャッターが小さく上下に動きます。
※iOS端末で登録確認画面が出ない場合にはP.35を参照してください。

7



シャッターが小さく上下に動きます。

8



画面右上の「保存」をタップします。
登録が完了します。

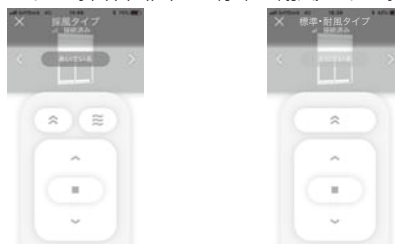
9



ホーム画面に登録したシャッターが表示されます。
表示されているシャッターをタップすると操作画面が表示されます。

10

採風タイプ 操作画面 標準・耐風タイプ 操作画面



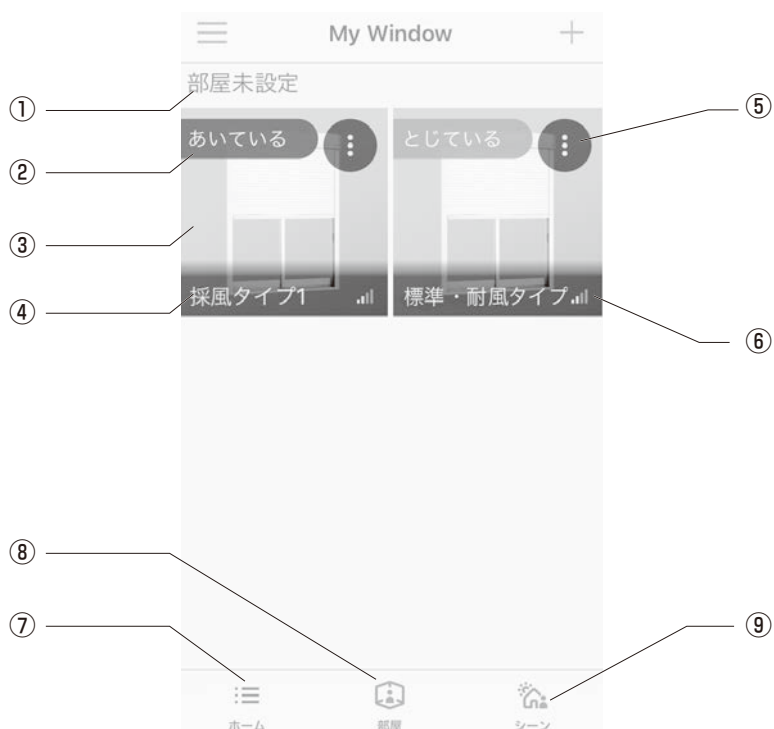
操作画面は登録したシャッターにより自動で採風タイプ、標準・耐風タイプの操作画面が表示されます。

4

スマートフォンアプリ「My Window」のホーム画面について

■ホーム画面について

シャッターとの登録が完了するとホーム画面に登録したシャッター一覧が表示されます。

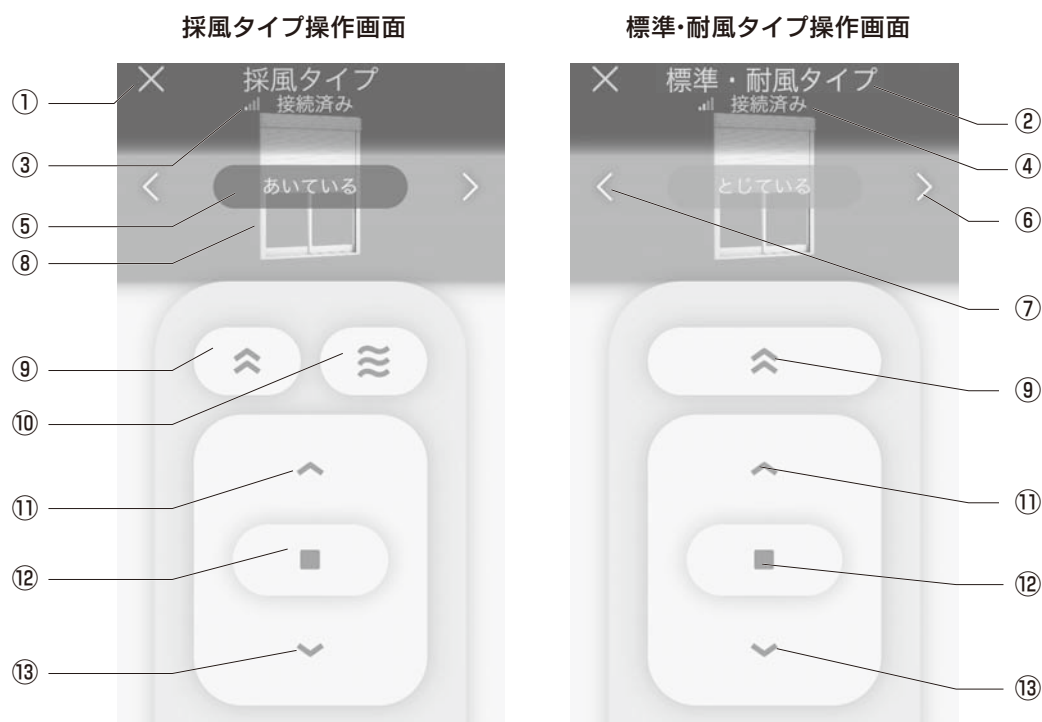


番号	名 称	説 明
①	部屋名	部屋名を表示します。任意の名前を登録できます。
②	状態表示	シャッターの開閉状態が確認できます。
③	背景画像	任意の写真を登録できます。
④	名称表示	任意の名称を登録できます。
⑤	オプションボタン	編集や削除ができます。
⑥	電波表示	電波の強さが表示されます。
⑦	ホームボタン	ホーム画面に戻ります。
⑧	部屋ボタン	部屋名を登録する場合に使用します。
⑨	シーンボタン	複数台シャッターを一斉に操作できます。

5

スマートフォンアプリ「My Window」の操作画面について

■操作画面について

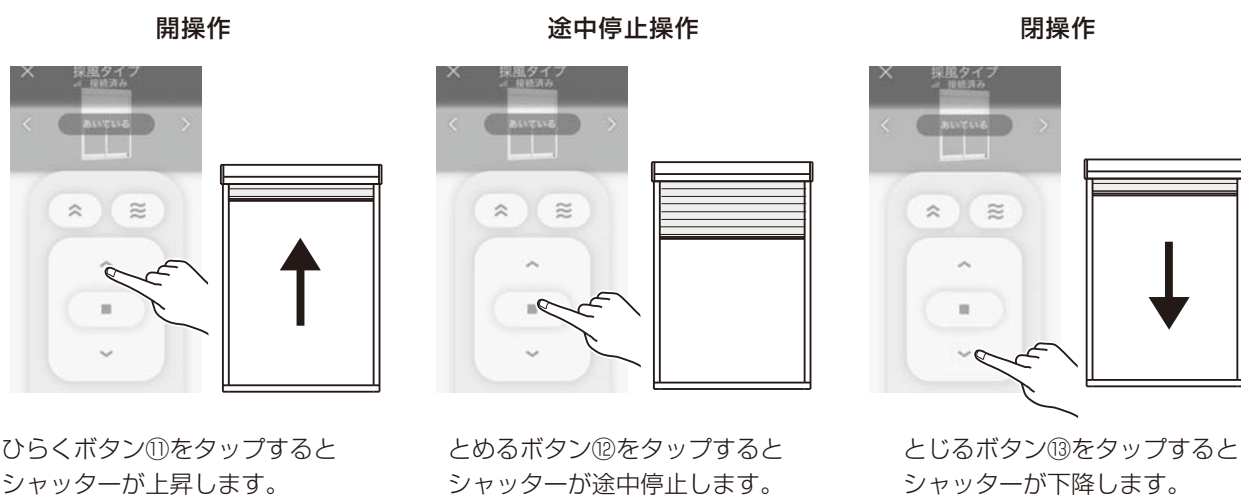


番号	名 称	説 明
①	×ボタン	タップするとホーム画面に戻ります。
②	タイトル	シャッター名を表示します。
③	電波強度	電波強度を4段階で表示します。
④	接続状態	シャッターとの接続状態を表示します。
⑤	開閉状態	開閉状態を表示します。
⑥	右矢印	登録順で1つ後のシャッター操作画面が表示されます。
⑦	左矢印	登録順で1つ前のシャッター操作画面が表示されます。
⑧	シャッター画像	任意の写真を設定できます。
⑨	メモリ位置ボタン	登録した任意の位置まで作動します。
⑩	採風ボタン	フラップスラットが全開になります。
⑪	ひらくボタン	シャッターが上昇します。
⑫	とめるボタン	シャッターが途中停止します。
⑬	とじるボタン	シャッターが下降します。

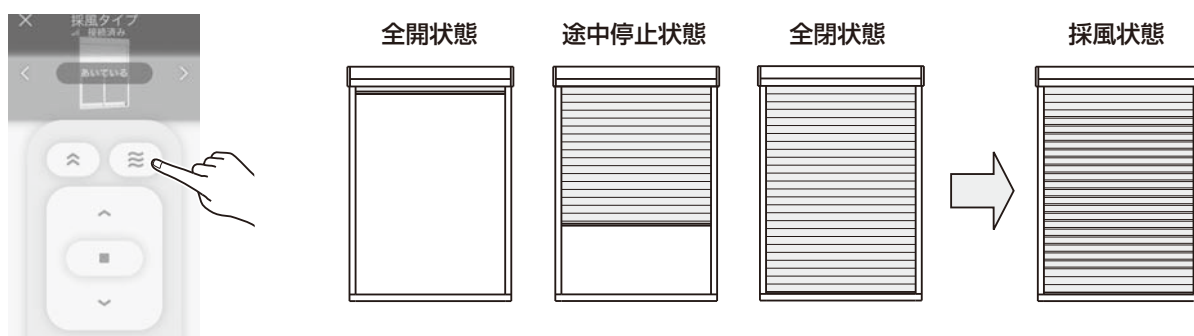
6

スマートフォンアプリ「My Window」の操作のしかた

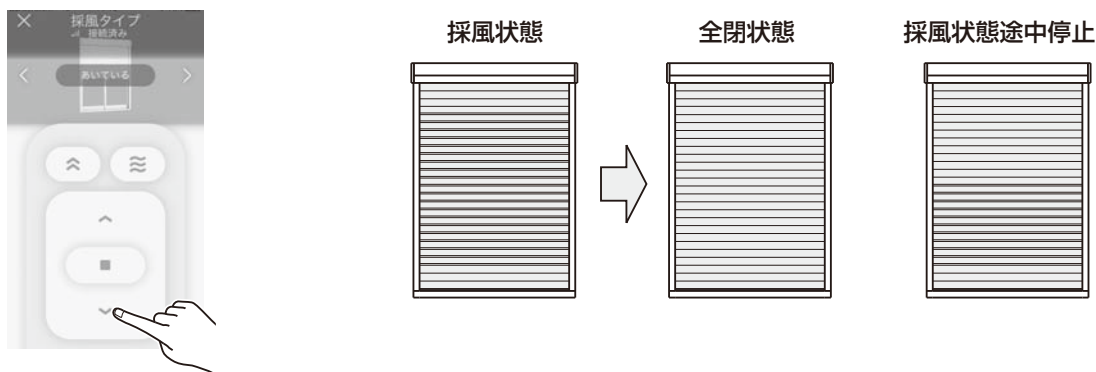
■開停閉操作のしかた



■採風操作のしかた



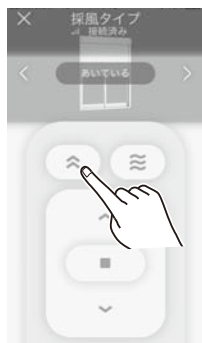
【採風状態での操作の場合】



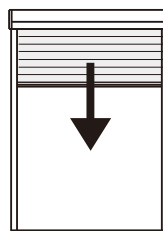
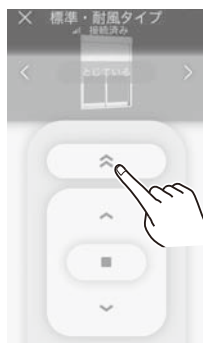
■メモリ位置操作のしかた

※メモリ位置の登録は、付属のリモコンで行ってください。

採風タイプ操作画面



標準・耐風タイプ操作画面

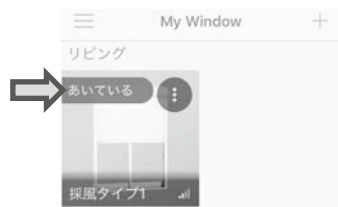


メモリ位置ボタン⑨をタップするとシャッターは登録された位置まで作動します。

■登録解除のしかた

「My Window」とシャッターに登録されている登録情報を削除します。
シャッターとの状態表示を確認し接続状態にしてから実施してください。

1



ホーム画面で状態表示を確認してください。「情報取得中」表示の場合は実施しないでください。

2



接続状態「あいている」「とじている」表示の時に実施してください。

3



ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。

4



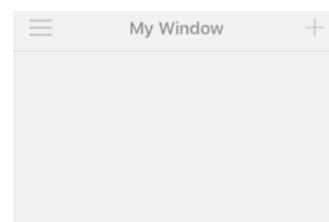
確認画面が表示されますので「削除する」をタップします。

5



確認画面が表示されますので「削除」をタップします。

6



ホーム画面から登録されていたシャッターが削除されます。

■スマートフォンのBluetooth®解除方法

iOSの場合、スマートフォンアプリ「My Window」でシャッターとのペアリング解除を行った場合、スマートフォンにBluetooth®の接続情報が残ります。

この場合、再び同じシャッターにペアリングを行うとペアリングできませんので、スマートフォンのBluetooth®解除を行ってください。

Androidは、スマートフォンにBluetooth®の接続情報が残っていても同じシャッターにペアリングができます。

※iOSを例に記載します。

1



「設定」をタップします。

2



「Bluetooth®」をタップします。

3



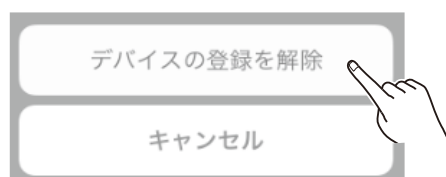
シャッターの接続情報が残っていると「LIXIL SHUTTER」と表示されます。情報を消したいシャッターのinfoボタン「①」をタップしてください。

4



「このデバイスの登録を解除」と表示されますのでタップしてください。

5



確認画面が表示されますので「デバイスの登録を解除」をタップしてください。

6



解除すると画面から「LIXIL SHUTTER」の表示が削除されます。

7

スマートフォンアプリ「My Window」の操作画面の編集について

■シャッター画像の編集

ホーム画面、操作画面のシャッター画像の編集ができます。

1



ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。

2



確認画面が表示されますので「編集する」をタップします。

3



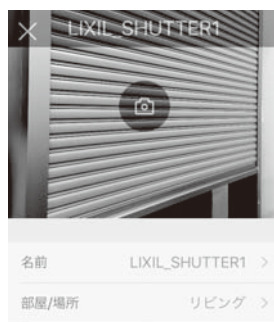
編集画面が表示されます。カメラマークをタップします。

4



確認画面が表示されますので「カメラで撮影」をタップするとその場で撮影した写真が反映されます。「フォルダから選択」をタップすると保存されている写真から選択できます。

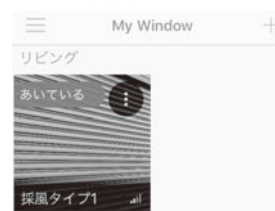
5



編集画面のシャッター画像が変わります。左上の「×」ボタンでホーム画面に戻ります。

6

ホーム画面



操作画面



ホーム画面および操作画面のシャッター画像が変わります。

■タイトルの編集

ホーム画面、操作画面のタイトルの編集ができます。タイトルを編集するとどここのシャッターかがわかりやすくなります。

1



ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。

2



確認画面が表示されますので「編集する」をタップします。

3



編集画面が表示されます。「名前」欄をタップします。

4



名前編集画面が表示されます。任意の名前を入力します。

5



名前を入力したら「完了」をタップします。

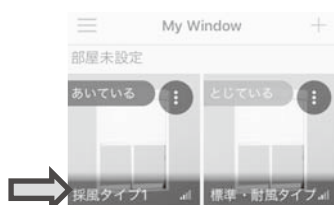
6



編集画面の「名前」欄の名称が変わります。

7

ホーム画面



操作画面

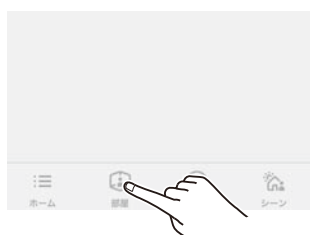


ホーム画面、操作画面のタイトルが変わります。

■部屋名の編集

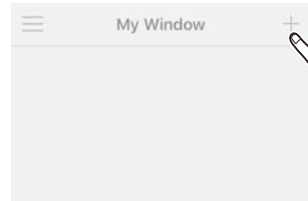
登録したシャッターに部屋名が登録できます。「リビング」など設置場所等がわかりやすくなります。

1



ホーム画面下側にある「部屋」ボタンをタップします。

2



部屋編集画面が表示されます。右上の「+」ボタンをタップします。

3



部屋名編集画面が表示されます。任意の名前を入力し「OK」をタップします。

■部屋名の編集(つづき)

4



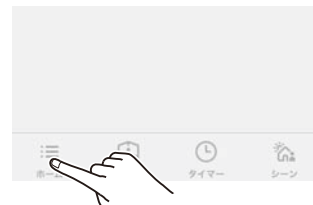
部屋編集画面に登録した名前が表示されます。

5



再度編集や削除がしたい場合はオプションボタンを押してください。

6



画面下側のホームボタンからホーム画面に戻ります。

7



ホーム画面で編集したいシャッターのオプションボタンをタップします。

8



確認画面が表示されますので「編集する」をタップします。

9



編集画面が表示されます。「部屋/場所」欄をタップします。

10



部屋一覧画面に「部屋」ボタンから登録した名前が表示されます。

11



登録した名前をタップするとチェックマークが付きます。

12



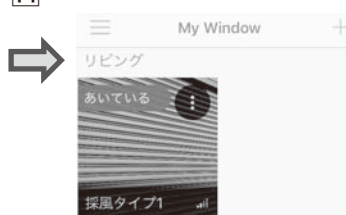
画面右上の「完了」ボタンを押します。編集画面に戻ります。

13



編集画面の名前欄の名称が変わります。
左上の「×」ボタンでホーム画面に戻ります。

14



ホーム画面の「部屋名」が変わります。

スマートフォンアプリ「My Window」のシーン登録、操作について

8 ■シーンについて

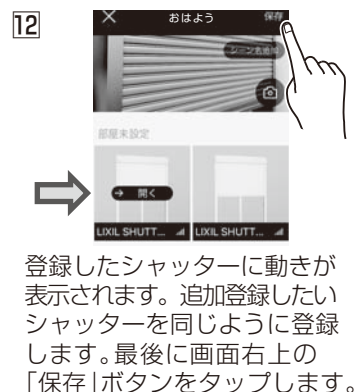
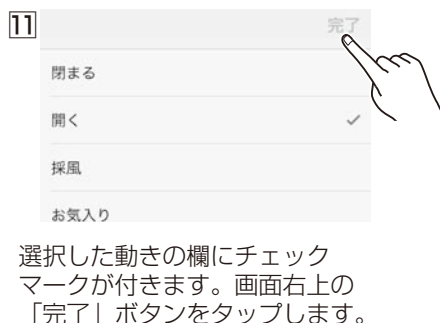
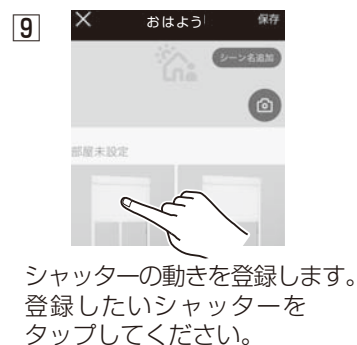
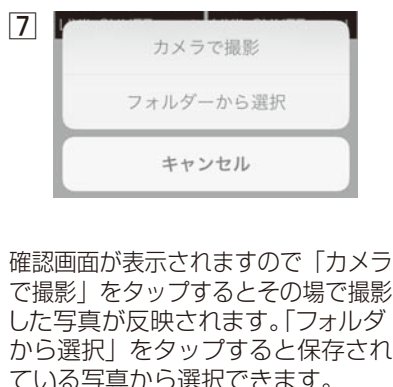
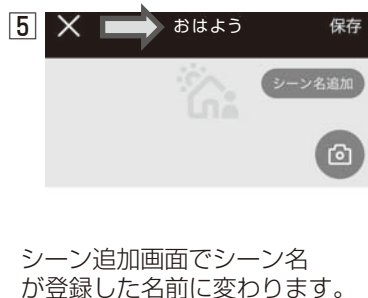
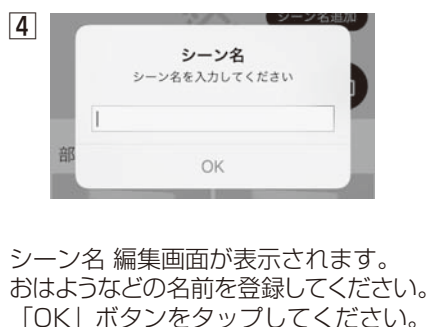
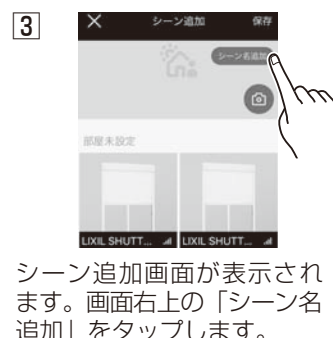
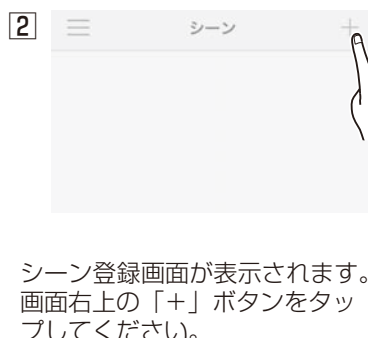
シーン操作とは、帰宅時に家中のシャッターを全て開ける、外出時に家中のシャッターを閉めるなど暮らしのシーンに合わせてシャッターを一齐に操作することができる機能です。シーン操作では登録した複数のシャッターをワンタッチ動作させるための設定ができます。

シーン	動作
おはよう	登録したシャッターをすべて開ける
おやすみ	登録したシャッターをすべて閉める
雨	登録したシャッターをすべて閉める
日よけ	登録したシャッターを半分閉める*

※半分閉めるではメモリ位置登録が必要です。
メモリ位置登録方法はP15,18をご確認ください。

■シーン登録

シーン操作(シーン登録したシャッターの一齐操作)するために登録を行います。Bluetooth®で直接シャッターを操作する場合は、1シーンで最大7台までです。ご使用のスマートフォンのBluetooth®利用状況により、同時接続できるシャッターが減少します。スマートフォンの機種、種類により最大同時接続数が異なります。電波の到達距離はスマートフォンの種類、機種によっても異なります。

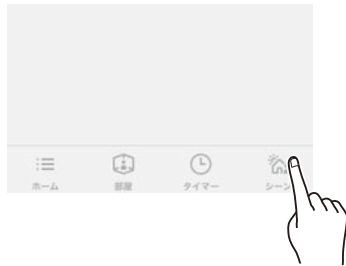


■シーン操作

シーン登録したシャッターを一斉に操作することができます。

電波の到達距離はスマートフォンの種類、機種によっても異なります。電波の届かないシャッターは作動しません。かならず電波の届く範囲で操作してください。

1



ホーム画面下側にある「シーン」ボタンをタップします。

2



シーン登録済のシーン名が表示されます。

3



操作したいシーン名の下
「実行」をタップします。

4



確認画面が表示されますので
「実行」をタップしてください。
シャッターが作動します。

■別のシーン操作方法



シーン登録画面に表示されている
シャッターをタップすると操作
画面が表示されます。



「実行」をタップしても
同じように操作ができます。

■シーンの編集・削除



登録の編集、削除はオプション
ボタンから行ってください。

Life Assist2について

他社 HEMS(AiSEG2、光 BOX+)をご使用の場合には『P.43、3 Life Assist2の登録について』まで実施ください。
その後、ご使用のHEMS機器の設定を行ってください。

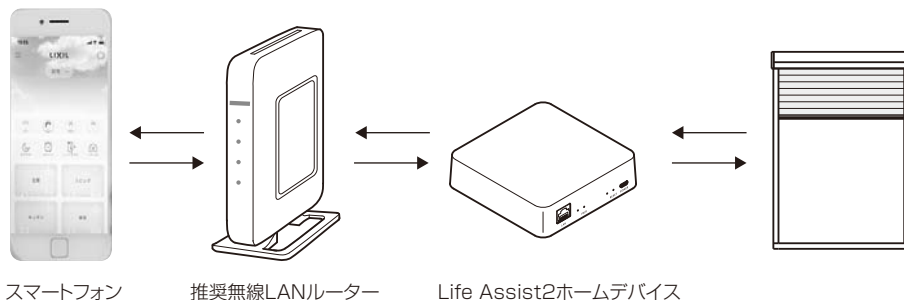
1

Life Assist2について

電動窓シャッター採風タイプ、標準・耐風タイプの場合、Life Assist2を利用してローカル接続やインターネット接続ができます。

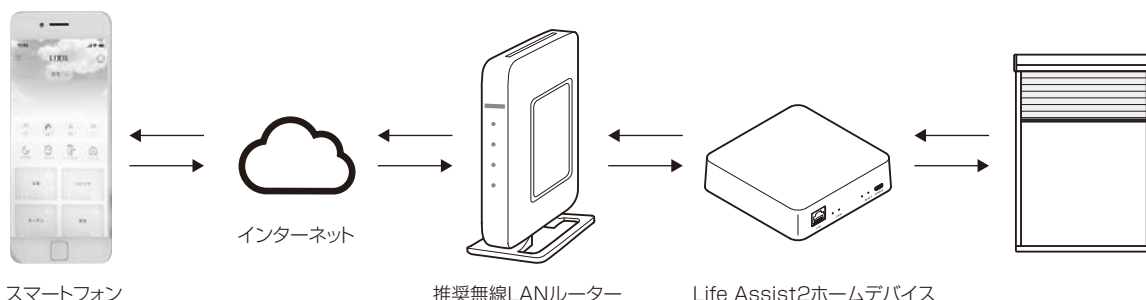
●ローカル接続

Life Assist2ホームデバイス、無線LANルーターで、インターネット回線の開通前やインターネット回線が不通になった場合にシャッターを設定したり、シャッターの操作や状態を確認できます。宅外からの機器操作やシーン操作（機器一斉操作）はできません。



●インターネット接続

Life Assist2ホームデバイス、無線LANルーター、インターネット接続でお住まいのシャッターすべてを、宅内・宅外からシーン操作（機器一斉操作）や個別操作、状態確認することができます。



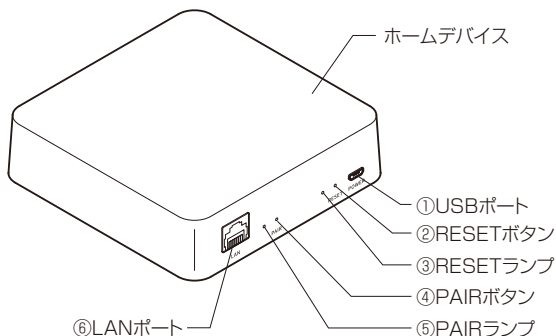
「Life Assist2」について、詳しくはこちらから。

Life Assist2 サポートサイト

<https://lifeassist-support.lixil.co.jp/hc/ja>



■Life Assist2ホームデバイスの各部の名称とはたらき



番号	名 称	説 明
①	USBポート	付属のUSBケーブルとACアダプタに繋がます
②	RESETボタン	※通常時は使用しません
③	RESETランプ	通信時に白点灯、インターネット接続時は白点滅 通信エラー時は消灯
④	PAIRボタン	※通常時は使用しません
⑤	PAIRランプ	通常通信時は消灯、シャッター接続時は白点滅 シャッター接続成功時は白点灯
⑥	LANポート	付属のLANケーブルに繋がます

詳しくは Life Assist2 サポートサイトをご覧ください。

2

Life Assist2の参考設置位置について

各階にホームデバイスを設置し、床を通した通信は行わないでください。

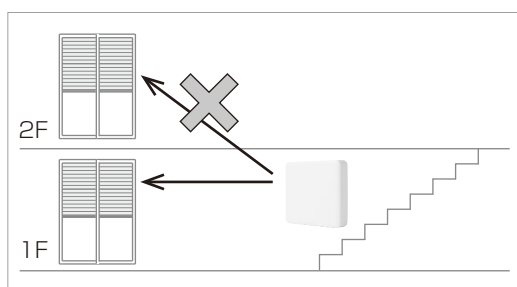
床を挟むと通信ができなくなることがあります。

窓シャッターとホームデバイスの距離は10m以内としてください。10m以上の場合は通信ができなくなる場合がありますので、ホームデバイスを増設してください。

家の対角に窓シャッターが設置されていても、家の中央付近にホームデバイスを設置することで、各窓シャッターとの距離が近くなるため、設置台数を少なくすることができます。

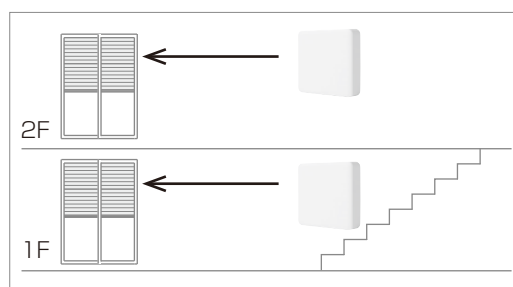
ホームデバイスは100V電源のACアダプタを使用します。100Vコンセントおよび情報（LAN）コンセントが必要になりますので、ホームデバイスの取付け位置にあらかじめ設置をお願いします。主要な部屋には無線LANルーターやホームデバイスの増設ができるように100Vおよび情報（LAN）コンセントの設置を推奨します。

間違った設置方法



1階のホームデバイスで2階のシャッターに接続しています。

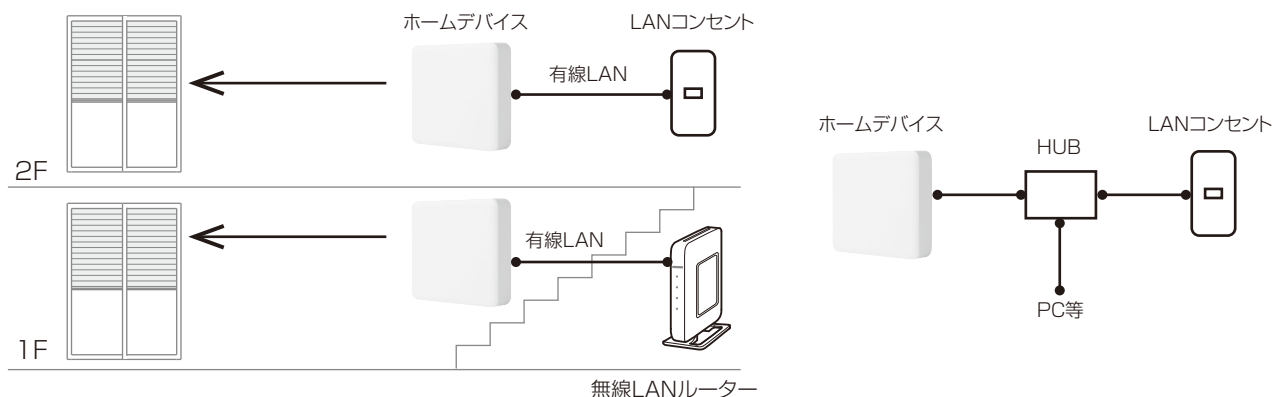
正しい設置方法



各階にホームデバイスをシャッターから10m以内に設置し接続しています。

●宅内に有線LANの配線がしてあり設置場所にLANコンセントがある場合

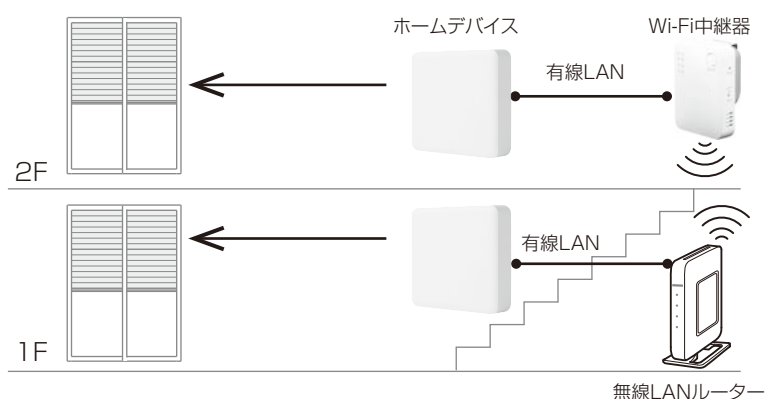
※すでにLANコンセントを使用している場合にはHUBなどを使用し接続してください。



●ホームデバイスの近くに有線LANの用意が出来ない場合

・ホームデバイスは有線LAN専用となります。

有線LANが用意出来ない場合には、有線LANポート付きの無線LAN中継器などを使用し接続してください。



3

Life Assist2の登録について

■ホームデバイスの設置・Life Assist2の初期設定について

Life Assist2を使用時は、ホームデバイスの設置及び「Life Assist2」アプリの初期設定を行う必要があります。詳細については、サポートサイトをご覧ください。

Life Assist2 サポートサイト

<https://lifeassist-support.lixil.co.jp/hc/ja>



■シャッターとホームデバイスの登録

※シャッターを登録する際は、シャッターとホームデバイスとの距離を1m以内に近づけてください。登録後は、設置位置からシャッターが作動することを確認してください。

※シャッター設置の場合、ホームデバイスは各階1台以上の設置を推奨します。

1 付属のリモコン
付属の高機能リモコン
もしくは単機能リモコン
を準備します。

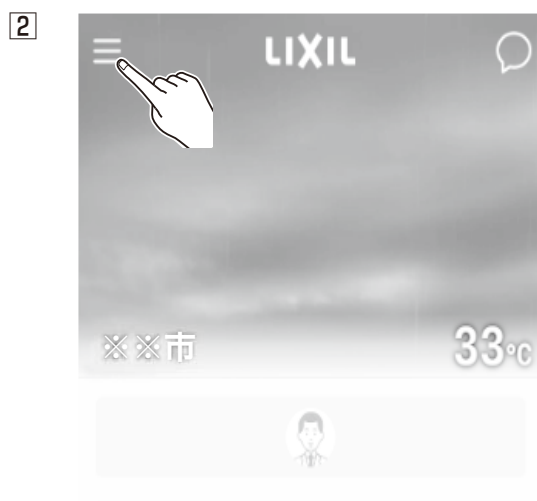


単機能
リモコン

or



高機能
リモコン



「Life Assist2」アプリを立ち上げてホーム画面を表示します。画面左上のメニューボタンをタップします。

※※市：登録された地域が表示されます。



メニュー画面、「機器」の右側の「+」ボタンをタップします。



「機器を追加」画面で、「LIXIL電動窓製品」をタップします。



「LIXIL電動窓製品」画面で、標準・耐風タイプの場合は「シャッター 標準・耐風タイプ」、採風タイプの場合は「シャッター採風タイプ」をタップします。

6 × シャッター 標準タイプ追加



「接続設定にすすむ」をタップします。

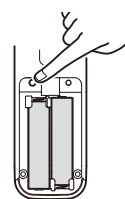
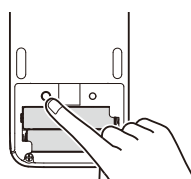
7 戻る ペアリング 次へ

ホームデバイス1 ✓

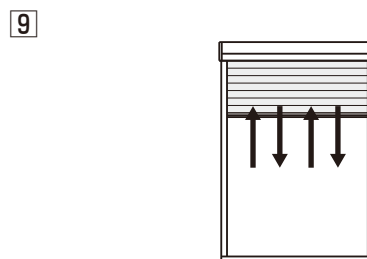
- ① シャッター 標準タイプを追加するホームデバイスを選択します。
- ② 「次へ」を押します。

電動シャッターを追加するホームデバイスを選択し、「次へ」をタップします。

8 高機能リモコン 単機能リモコン



付属の高機能リモコンもしくは単機能リモコンの電池フタを開け、左側のペアリングボタンを10秒以上押し続けます。



ペアリングボタンを押してから5秒経過後と、10秒経過後にシャッターが小さく上下に作動します。10秒経過後の2回目の作動でペアリングボタンを離してください。シャッターがペアリングモードに入ります。指を離すと再度シャッターが小さく上下に動きます。

10 戻る ペアリング 次へ



- ① リモコン背面のボタンを長押しします（約10秒間）。
- ② シャッター本体が上下に数回動いたことを確認したら、「次へ」を押します。

「Life Assist2」アプリに戻り「次へ」をタップします。

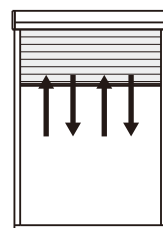
11 戻る ペアリング

ペアリング開始

- ① 「ペアリング開始」を押します。
- ② ペアリング完了するまで待ちます。

「Life Assist2」アプリのペアリング画面で「ペアリング開始」をタップします。

12 戻る ペアリング 完了



ペアリングが成功するとシャッターが小さく上下に作動し、「Life Assist2」アプリとシャッターのペアリングが完了します。「Life Assist2」アプリに電動シャッターという名称が表示されます。次に機器名と設置スペースの設定が必要です。設置スペースの右側の「+」をタップします。既に設置スペースを作成されている場合は15に進んでください。

13



スペースの種類を選択してください。ここではリビングを選択しています。「リビング」をタップしたあと、「次へ」をタップしてください。

14



リビングが表示されていることを確認し、「次へ」をタップしてください。

15



設置スペースの「>」をタップして、「リビング」をタップしてください。

16



設置スペースにリビングが追加されていることを確認したあと、「完了」をタップしてください。

17



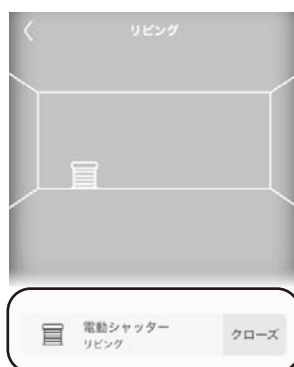
「戻る」をタップしてください。

18



ホーム画面が表示されたら「リビング」をタップするか、右下の「≡」をタップしてください。

リビング画面



「リビング」をタップした場合

機器一覧画面



右下の「≡」をタップした場合

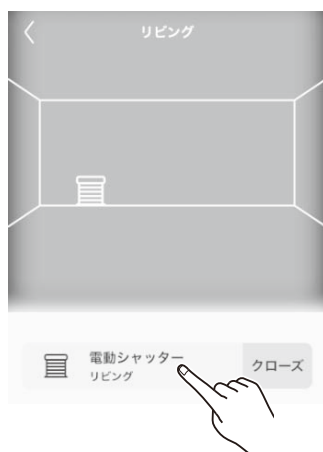
リビングの画面または機器一覧の画面に、シャッターが追加されたことを確認してください。

※他社HEMS (AiSEG2、光 BOX+) をご使用の場合には、ご使用のHEMS機器でシャッターの設定を行ってください。

4

スマートフォンアプリ「Life Assist2」の操作のしかた

リビング画面

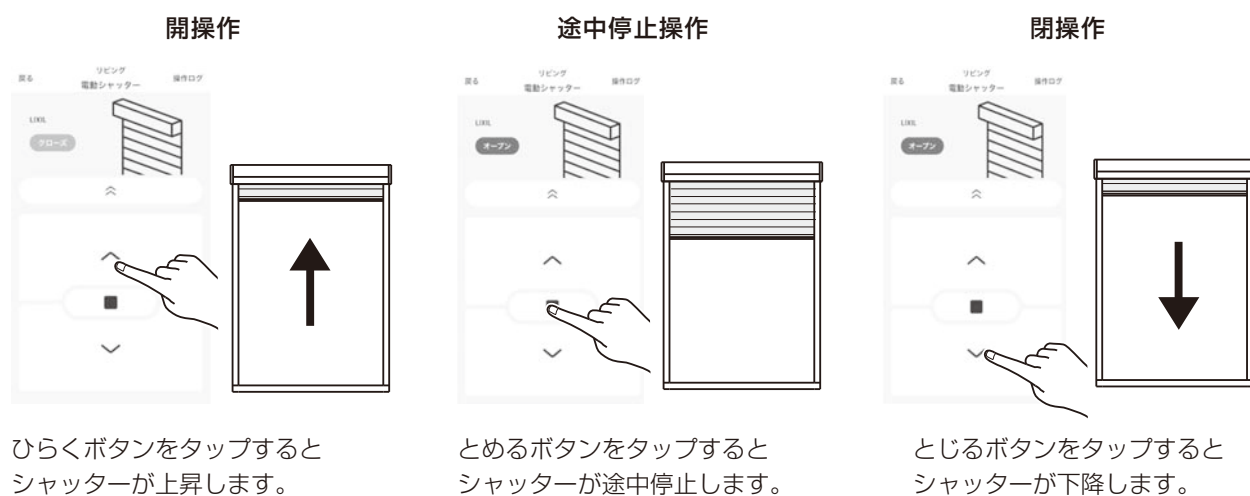


機器一覧画面

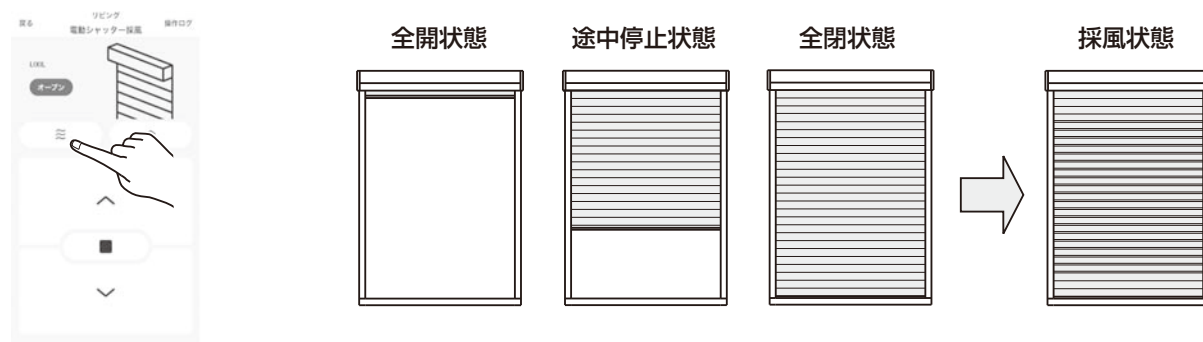


リビング画面または機器一覧画面から、操作したいシャッターをタップしてください。

■開閉停操作のしかた

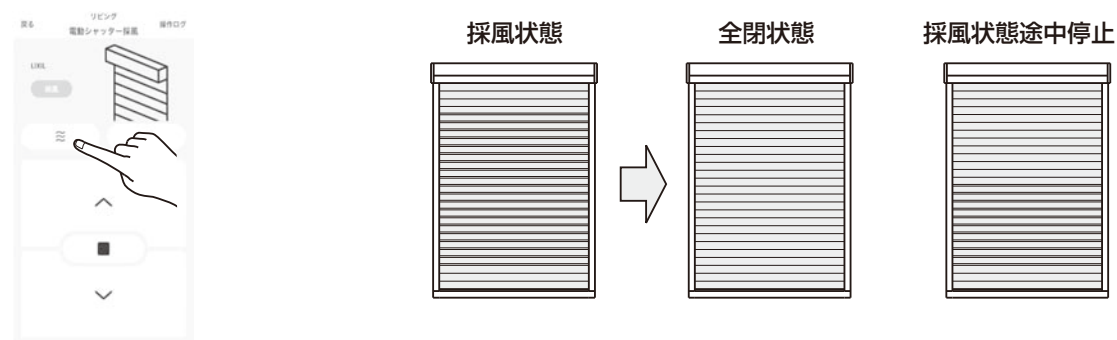


■採風操作のしかた



採風ボタンをタップするとシャッターが採風状態になります。

【採風状態での操作の場合】



とじるボタンをタップすると、採風状態からフラップスラットが閉まり、その後全閉状態になります。
とめるボタンをタップして途中で止めることもできます。

5

「Life Assist2」アプリケーションのシャッターの登録解除について

1



「Life Assist2」アプリを立ち上げてホーム画面を表示します。画面左上のメニューボタンをタップします。

2



メニュー画面、「電動シャッター」の右側の「>」ボタンをタップします。

3



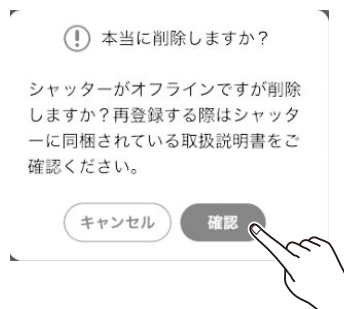
「Device List」から削除するシャッターをタップします。

4



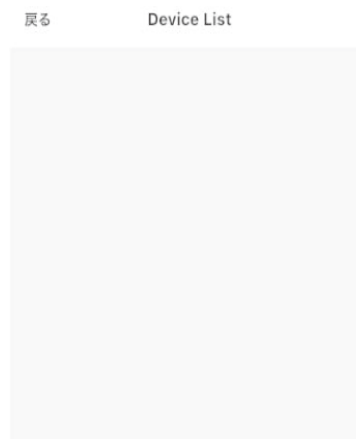
「削除」をタップします。

5



登録解除確認画面が表示されます。「確認」をタップします。

6



「Device List」の画面に戻ります。電動シャッターがなくなっていることを確認してください。

標準・耐風タイプ 異常表示の原因と解除のしかた

※異常を感知した場合、異常表示が出ます。

ここでは、異常表示の原因と解除のしかたを説明します。

1

異常表示

■異常が表示されるのは以下の原因が考えられます。(故障ではありません)

(1) シャッター下降中に、幅木が異物（人・物など）を感知した場合

→シャッターはただちに停止し、自動的に上昇して全開で停止します。

シャッター周辺に異物（人・物など）がないか確認し、取除いてください。

全開まで作動した後、異常表示は消えます。

強風時に閉動作し反転上昇してしまう場合は、とじるボタンでシャッターを下降させ反転上昇した際にとじるボタンを押し続けてください。

押し続けの作動となり強風時でも下降させることができます。とじるボタンを離すとシャッターは停止し、その後はワンタッチで操作可能です。

■異常は表示されませんが停止します。(故障ではありません)

(1) シャッター上昇中に幅木にぶら下がった場合

→シャッターはその場で停止します。

シャッターにはぶら下がらないで下さい。

(2) 幅木ロックをかけたまま、シャッターを操作し一定時間経過した場合

→シャッターはその場で停止します。

P.54「幅木ロックの操作のしかた」を参照して、幅木ロックを解除してください。

■異常が表示されます。(故障ではありません)

(1) 手動開閉状態でリモコンで操作して約90秒モーターを連続作動させた場合

→約90秒後に異常点滅します。リモコンのとめるボタンで異常を解除してから

操作ハンドルを引いて電動開閉に戻して全開もしくは全閉にしてください。

(2) シャッター作動中に極度の電圧変動が発生した場合

→停止もしくは反転上昇する場合があります。

※高機能リモコンの場合「障害物を検知しました」と表示されます。

■異常表示の解除のしかた

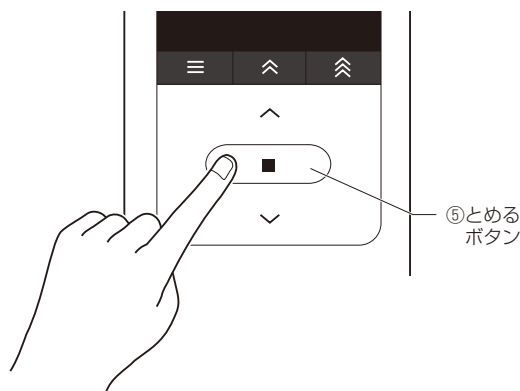
●高機能リモコン とめるボタン⑤、単機能リモコン とめるボタン④を押してください。

異常の表示を解除します。

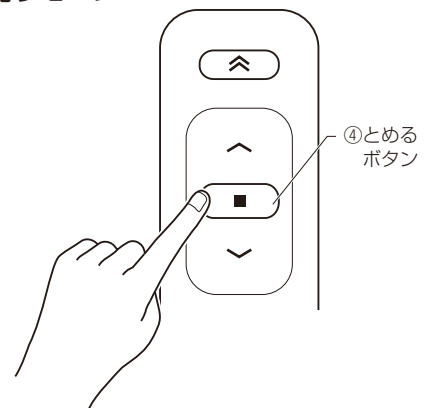
※とめるボタンを押して異常表示が消えない場合は数秒待ち再度とめるボタンを押してください。

※ブザー音は鳴りません。

高機能リモコン



単機能リモコン



2

停電復帰

- 開閉中に停電した場合、シャッターはその位置で停止します。
高機能リモコンの場合、停電復帰後は状態表示とシャッターの状態が合わない場合があります。その場合、とめるボタンを1回押してください。状態表示とシャッターの表示が合うようになります。
停電復帰後に、全開もしくは全閉まで作動させてください。

■シャッターが全開状態の場合

- 全開状態の時に、開方向へ作動させた場合、全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向作動し停止します。
閉方向に作動させた時は、全閉時にシャッターがたわんだ後に開方向へ少し作動し停止します。

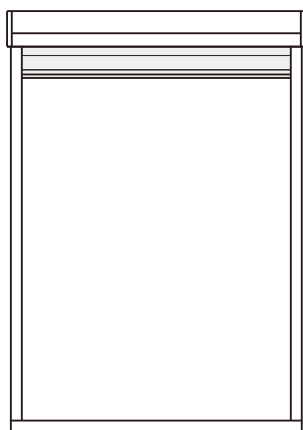
■シャッターが途中で停止している場合

- 開方向へ作動させた場合、全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。
閉方向に作動させた時は、全閉時にシャッターがたわんだ後に開方向へ少し作動し停止します。

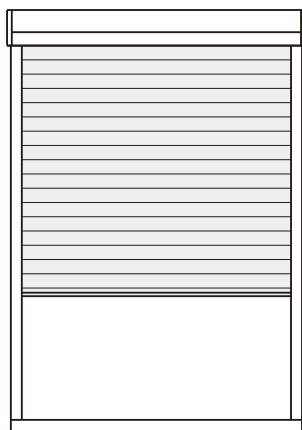
■シャッターが全閉状態の場合

- 開方向へ作動させた場合、全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。
閉方向に作動させた時は、シャッターがたわんだ後に、開方向へ作動後停止し、閉方向に再度作動し
たわんだ後に、開方向へ少し作動し停止します。

■シャッターが全開状態
の場合



■シャッターが途中で
停止している場合



■シャッターが全閉状態
の場合



※土間幅木の場合

停電復帰後に全閉にすると、幅木と下枠にすき間ができる場合があります。その場合は1往復（全開→全閉）を行ってください。

採風タイプ 異常表示の原因と解除のしかた

※異常を感知した場合、異常表示が出ます。

ここでは、異常表示の原因と解除のしかたを説明します。

1

異常表示

■異常が表示されるのは以下の原因が考えられます。(故障ではありません)

- (1)シャッター下降中に、幅木が異物（人・物など）を感知した場合
→シャッターはただちに停止し、自動的に上昇して全開で停止します。
シャッター周辺に異物（人・物など）がないか確認し、取除いてください。
- (2)シャッター上昇中に幅木にぶらさがった場合
→シャッターはその場で停止します。
シャッターには、ぶらさがらないでください。
- (3)幅木ロックをかけたまま、シャッターを操作し一定時間経過した場合
→シャッターはその場で停止します。
P.54「幅木ロックの操作のしかた」を参照して、幅木ロックを解錠してください。
- (4)強風時に開閉した場合
→障子を閉め、異常表示を解除した後に開閉してください。それでも異常を表示する場合は、異常表示を解除せず
ひらくまたはとじるボタンを押し続けてください。
異常表示は操作終了後、解除してください。
- (5)手動開閉状態でリモコンを操作して約90秒モーターを連続作動させた場合
→シャッターは動きません。高機能リモコンの場合、「障害物を感知しました」と表示が出ます。操作ハンドルを
引いて電動開閉に戻しP.57「電動復帰のしかた」を参照して、復帰操作をしてください。
- (6)通電中に手動開閉操作をし、途中位置で電動操作に切替えてシャッターを全閉にした場合
→全閉位置がずれます。P.57「電動復帰のしかた」を参照して、復帰操作をしてください。
- (7)極度の電圧変動が発生した場合
→停止もしくは反転上昇する場合があります。
※高機能リモコンの場合「障害物を検知しました」と表示されます。

■異常表示の解除のしかた

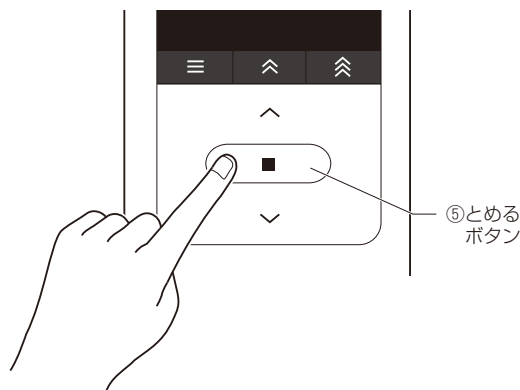
高機能リモコン とめるボタン⑤、単機能リモコン とめるボタン④を押してください。

異常の表示を解除します。

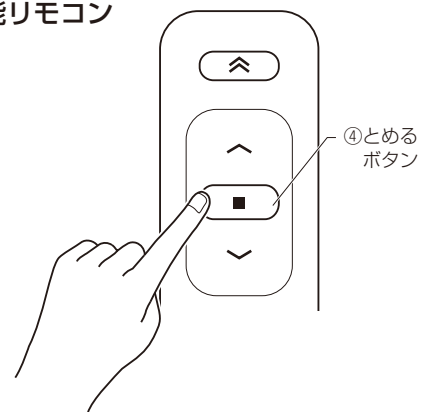
※とめるボタンを押して異常表示が消えない場合は数秒待ち再度とめるボタンを押してください。

※ブザー音は鳴りません。

高機能リモコン



単機能リモコン



2

停電復帰

- 停電があった場合には次の操作をしてください。

開閉中に停電した場合、シャッターはその位置で停止します。

※高機能リモコン とじるボタン⑥・単機能リモコン とじるボタン⑤を押しても作動しません

■シャッターが全開状態の場合

- 全開状態であっても、高機能リモコン ひらくボタン④・単機能リモコン ひらくボタン③を押してください。
少し開方向に作動します。全開後、高機能リモコン とじるボタン⑥・単機能リモコン とじるボタン⑤を押し、シャッターを全閉にしてください。

■シャッターが途中位置で停止している場合

- 高機能リモコン ひらくボタン④・単機能リモコン ひらくボタン③を押し、シャッターを全開にしてください。
全開後、高機能リモコン とじるボタン⑥・単機能リモコン とじるボタン⑤を押し、シャッターを全閉にしてください。
サイズにより幅木と下枠の間に、すき間が発生することがありますが、再度全開、全閉をするとすき間はなくなります。

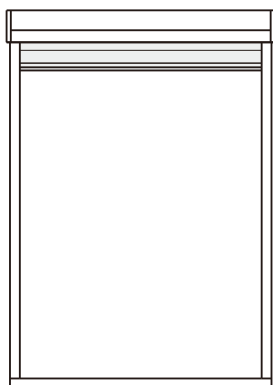
■シャッターが全閉状態の場合

- 高機能リモコン ひらくボタン④・単機能リモコン ひらくボタン③を押し、シャッターを全開にしてください。

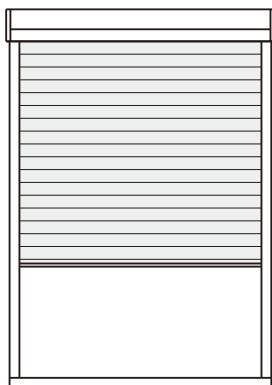
■シャッターが採風状態の場合

- 高機能リモコン ひらくボタン④・単機能リモコン ひらくボタン③を押し、シャッターを全開にしてください。
全開後、高機能リモコン とじるボタン⑥・単機能リモコン とじるボタン⑤を押し、シャッターを全閉にしてください。

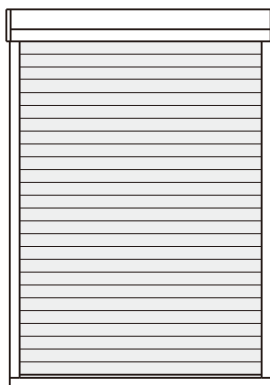
■シャッターが全開状態の場合



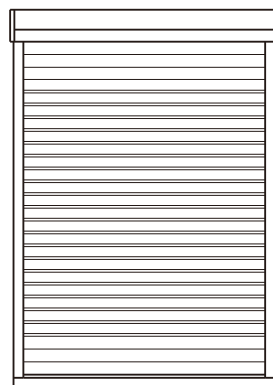
■シャッターが途中で停止している場合



■シャッターが全閉状態の場合



■シャッターが採風状態の場合



連窓方立の取外し方・取付け方

⚠ 注 意

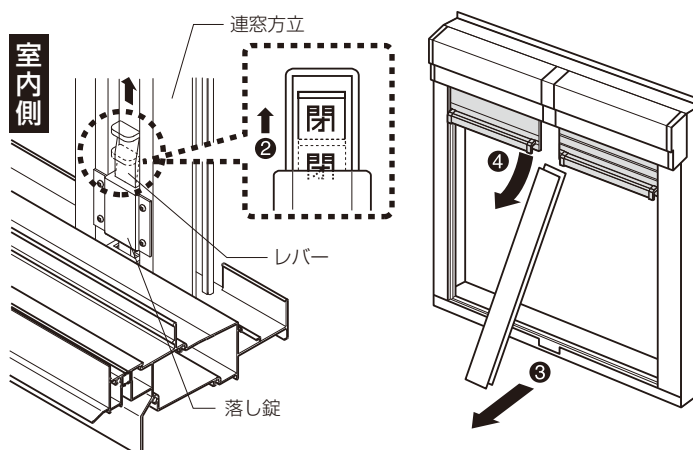
- 連窓方立の取付け後に、落し錠のレバー部『閉』刻印が半分かくれるまでレバーを下げ、落し錠受けに固定してください。固定されていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

お願い

- 連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

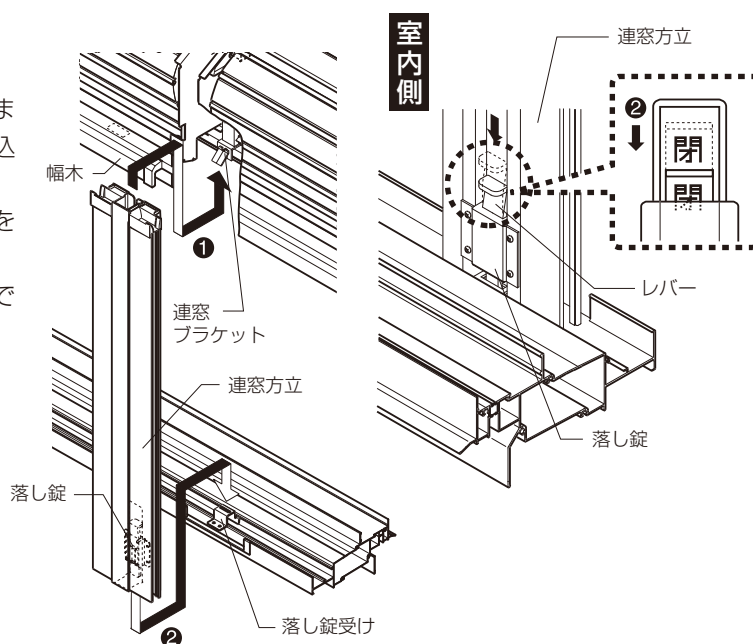
■「連窓方立」の取外し方

- ①「窓シャッター」を開けた状態にします。
- ②連窓方立の室内側下部に付いている落し錠のレバーを引上げます。
- ③連窓方立の下部を室外側に押出します。
- ④連窓方立を下方方向に下げて、上部から引抜きます。



■「連窓方立」の取付け方

- ①連窓方立の上部に左右の幅木を差込みます。そのまま連窓方立を押上げ、その上部を連窓ブラケットに差込みます。
 - ②連窓方立の下部を室内側に引込み、落し錠のレバーを下げ、落し錠受けに固定します。
- ※落し錠のレバー部『閉』刻印が半分以上かくれるまでレバーを下げ、落し錠受けに固定します。



幅木ロック機構の使い方

※ここでは、幅木ロックの操作のしかたについて説明しています。

1

幅木ロックとは

- 自動ロック機構を装備していますが、おやすみ、外出時の防犯性を高めるため、手動式の幅木ロックを用意しています。

お願い

- おやすみまたは外出の際は、安全のため、シャッターを閉めて幅木ロックを施錠してください。また、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際も必ず施錠してください。

2

幅木ロックの操作のしかた

■幅木ロックの施錠方法

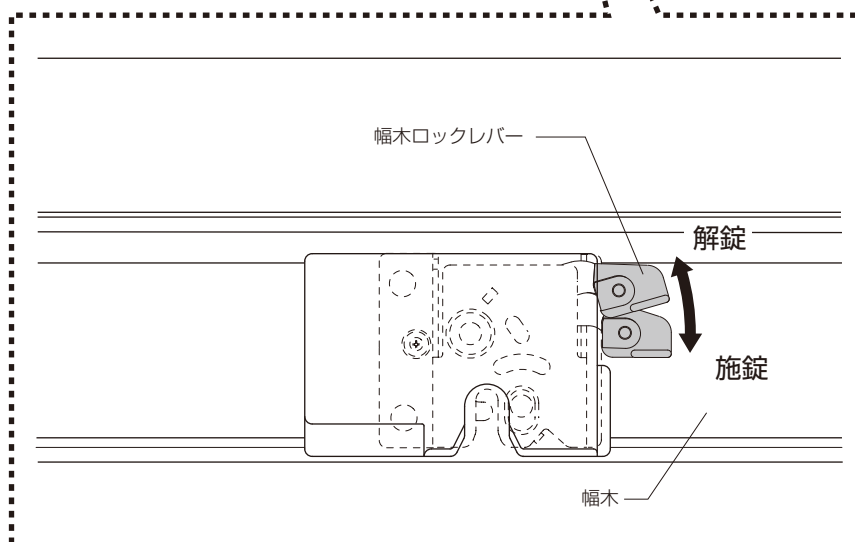
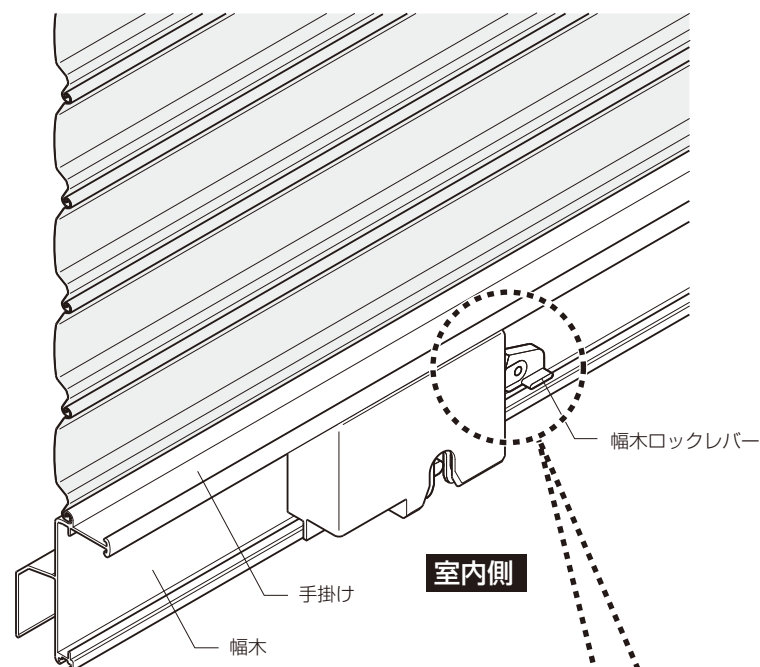
- ①シャッターを全閉にします。
- ②幅木の手掛けを下に押付けながら、幅木ロックレバーを施錠側に倒します。

■幅木ロックの解錠方法

- 幅木ロックレバーを解錠側に倒します。

お願い

- 幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損することがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。



停電時開閉機構の使い方

※ここでは、停電時開閉機構の使い方について説明しています。

1

停電時開閉機構とは

- [電動窓シャッター] は電動式シャッターですが、手動でも開け閉めできます。

お願い

- 非常時にも必ず開閉できるよう、「開閉のしかた」にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。

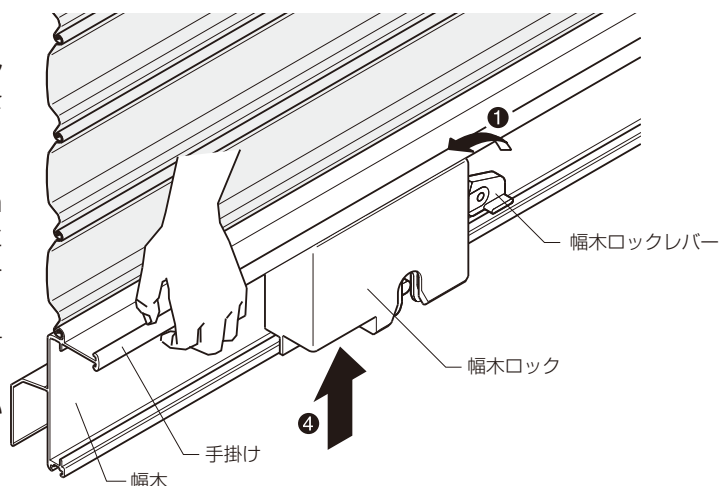
2

開閉のしかた

- ①シャッターへの電源ブレーカーを落としてください。
- ②サッシの障子を開き、P.54「幅木ロックの操作のしかた」を参照して、幅木ロックの幅木ロックレバーを解錠します。
- ③操作ハンドルをホルダーから外してください。
- ④操作ハンドルを下方に引いてください。(約20mm引くと切り替えができます。)(操作ハンドルを下方に引くとスラットが巻き上がり大きな音が発生する場合がありますが、故障ではありません)
- ⑤そのまま幅木の手掛けを持ち上げ、シャッターを開けます。

※電動操作への復帰は、P.56・57「電動復帰のしかた」を参照して、復帰操作をしてください。

※商品によって幅木ロックが付かない場合があります。

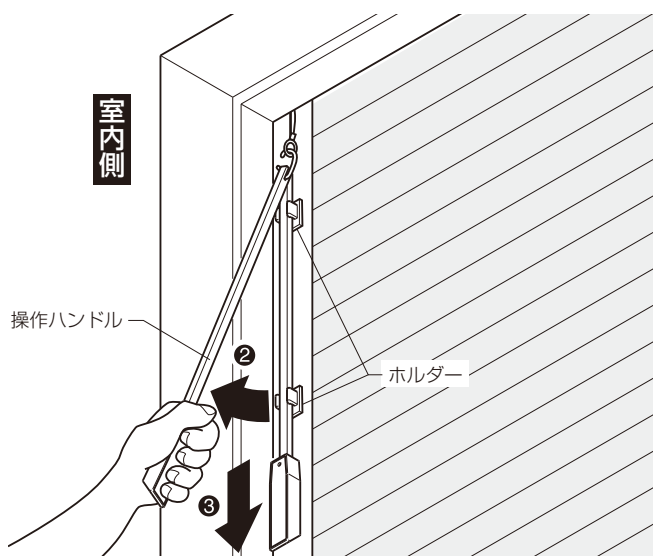


お願い

- 採風タイプの場合、採風状態で操作ハンドルを引くとフラップスラットが一斉に閉じるため非常に大きな音がする場合がありますのでご注意ください。
- 採風タイプの場合、手動での操作はゆっくり開閉してください。スラットが当たり破損するおそれがあります。

！ 注 意

- 開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。



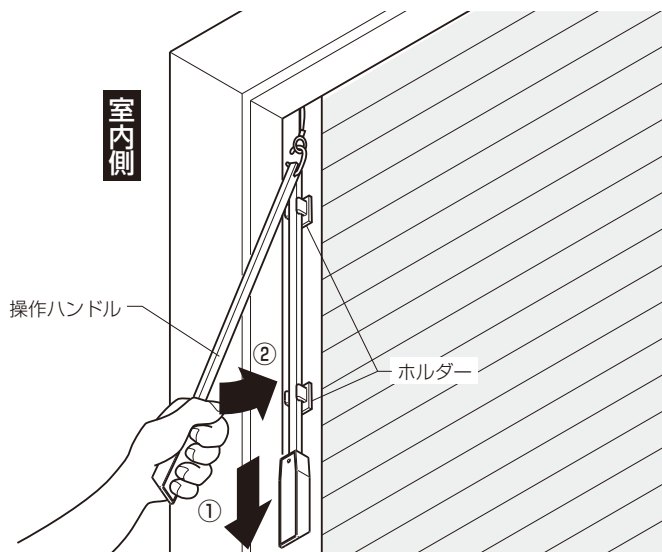
※ここでは「標準・耐風タイプ」の電動復帰について説明しています。

3

標準・耐風タイプ 電動復帰のしかた

- 停電時開閉機構を使った場合、以下の操作にて電動復帰を行ってください。

- ①電源ブレーカーを入れてください。
 - ②操作ハンドルを下方に引いてください。
(約20mm引くと切り替えができます。)
電動開閉に戻ります。
- ※ 幅木の手掛けを持ち上げシャッターが開け閉めできないことを確認してください。
- ③操作ハンドルをホルダーに固定してください。



■ 停電時に停電時開閉機構を使用した場合

全開もしくは全閉まで作動させてください。

- 開方向へ作動させた場合、全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。
- 閉方向に作動させた時は、全閉時にシャッターがたわんだ後に開方向へ少し作動し停止します。

■ 通電中に停電時開閉機構を使用した場合

全開もしくは全閉まで作動させてください。

- 開方向に作動させた時に全開までいかずに停止する場合があります。その場合は閉方向に作動させてください。
全閉時にシャッターがたわんだ後に開方向へ少し作動し停止します。
次の開動作で全開まで作動します。
- 閉方向に作動させた時に全閉までいかずに停止する場合があります。その場合は開方向に作動させてください。
全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。
次の閉動作で全閉まで作動します。

※ 土間幅木の場合

全閉にすると、幅木と下枠にすき間ができる場合があります。その場合は1往復(全開→全閉)を行ってください。

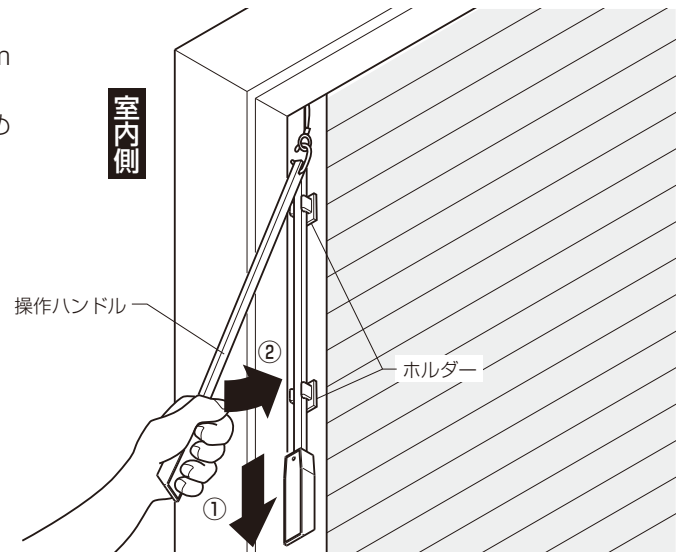
※ここでは「採風タイプ」の電動復帰について説明しています。

4

採風タイプ 電動復帰のしかた

- 停電時開閉機構を使った場合、以下の操作にて電動復帰を行ってください。

- ①電源ブレーカーを入れてください。
- ②操作ハンドルを下方に引いてください。(約20mm引くと切り替えができます。)電動開閉に戻ります。
※幅木の手掛けを持ち上げシャッターが開け閉めできないことを確認してください。
- ③操作ハンドルをホルダーに固定してください。



■停電時に停電時開閉機構を使用した場合

全開まで作動させてください。

開方向へ作動させた場合、全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。

■通電中に停電時開閉機構を使用した場合

※My Window、Life Assist2アプリでは復帰操作ができません。必ずリモコンから復帰操作してください。

●単機能リモコンの場合

とめるボタンを5秒以上押してください。

緑LEDがゆっくり点滅したらひらくボタンを4回押してください。緑LEDが早い点滅をします。

緑LEDの早い点滅が終わったらひらくボタンでシャッターを全開にしてください。

●高機能リモコンの場合

とめるボタンを5秒以上押してください。選択画面が表示されます。

画面表示に従い、ひらくボタンを2回押してください。

シャッターが開方向へ作動します。

選択画面は操作後3秒経過後にホーム画面に戻ります。

選択画面に入りました

採風登録：採風を押す

メモリ登録：メモリを押す

手動復帰：開を2回押す

上記操作で復帰できない場合は、シャッターの電源ブレーカーを切→入してください。

その後、ひらくボタンで開方向へ作動させ全開にしてください。

シャッターの上下限位置の設定のしかた

※ここでは、ガレージシャッターがワンタッチ開/閉できない場合やガレージシャッターのスラットが途中で止まってしまう場合の設定のしかたを説明します。

シャッター停止位置設定のしかた

■スラット（全開・全閉）停止位置設定のしかた

●ガレージシャッターがワンタッチ開/閉できない場合や、ガレージシャッターのスラットが途中で止まってしまう場合には以下の操作を行ってください。

※単機能リモコンの場合、追加リモコンでは設定ができませんので、製品に付属されていたリモコンを使って設定してください。

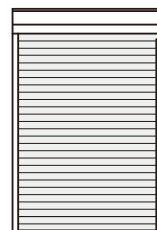
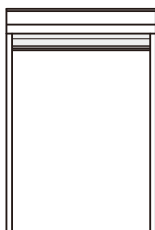
※高機能リモコンの場合、品種番号が「すべて」では設定できません。対象のシャッターの品種番号にしてから操作してください。

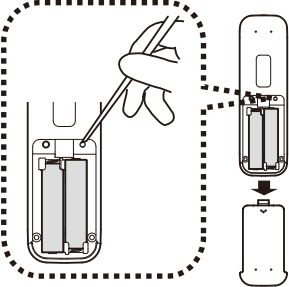
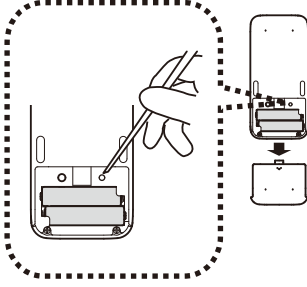
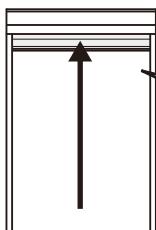
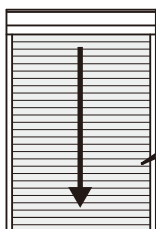
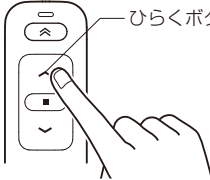
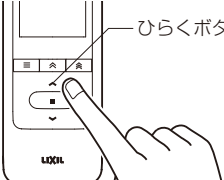
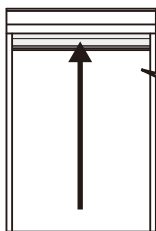
※スラットはどの位置でも上下限設定が可能です。

全開状態

途中停止状態

全閉状態



操作内容	備考
①リモコンの電池フタを開け、右側の設定ボタンを1回押してください。 単機能リモコン  高機能リモコン 	指では押せませんので 先の細いもので押してください。
②自動でシャッターが開動作を行います。 お願い 自動動作中はシャッター、リモコンなどに手などが触れないようにしてください。	 自動で開
③全開後、自動でシャッターが閉動作を行います。	 自動で閉
④リモコンのひらくボタンを押してください。 ワンタッチで全開位置まで作動すれば設定は完了です。 単機能リモコン  ひらくボタン 高機能リモコン  ひらくボタン	 開

動画一覧表 シャッターの設定・調整

①名称 ②目的・説明

① 高機能リモコンの説明
② 高機能リモコン各ボタンの説明



① 単機能リモコンの説明
② 単機能リモコン各ボタンの説明



① 高機能、単機能リモコンの追加登録
② 追加オプションリモコンを登録する方法



① 採風タイプメモリ位置登録、操作
② 採風タイプのメモリ位置登録、操作方法



① 標準・耐風タイプメモリ位置登録、操作
② 標準・耐風タイプメモリ位置登録、操作方法



① 高機能リモコン：現在時刻設定、タイマー登録、タイマー設定
② 高機能リモコンの現在時刻設定、タイマー登録、タイマー設定方法



① 高機能リモコンの登録解除方法
② 受信機、リモコンを同時登録解除する



① 単機能リモコンの登録解除方法
② 受信機、リモコンを同時登録解除する



①	停電時開閉機構の使い方	停電時開閉機構の使い方	
	停電時開閉機構使用後の高機能リモコンでの復帰方法	停電時開閉機構使用後の高機能リモコンでの復帰方法	
	停電時開閉機構使用後の単機能リモコンでの復帰方法	停電時開閉機構使用後の単機能リモコンでの復帰方法	

① 採風タイプの異常解除
② 採風タイプの過負荷検知時の異常解除方法



① 標準・耐風タイプの異常解除
② 採風タイプの過負荷検知時の異常解除方法



① スマートフォンアプリの登録方法
② スマートフォンアプリ「My Window」とシャッターの登録方法



① スマートフォンアプリの操作方法
② スマートフォンアプリ「My Window」の操作方法



① スマートフォンアプリの解除方法
② スマートフォンアプリ「My Window」とシャッターの解除方法



① 標準・耐風タイプ初期設定



NO	電動窓シャッター			
	採風タイプ		標準・耐風タイプ	
	高機能	単機能	高機能	単機能
①	○	—	○	—
②	—	○	—	○
③	○			
④	○	—	—	
⑤	—		○	
⑥	○	—	○	—
⑦	○	—	○	—
⑧	—	○	—	○
⑨	○			
⑩	○		—	
⑪	—		○	
⑫	○			
⑬	○			
⑭	○			
⑮	—		○	

- | | | | | | | | | |
|---|-----------------------|---|---|------------------------------|---|---|--------------------------|---|
| 1 | Life Assist2の概要説明 |  | 2 | 設置位置の決め方説明 |  | 3 | Life Assist2の取付方法説明 |  |
| 4 | ローカル接続で使用する場合の登録方法説明 |  | 5 | Life Assist2とシャッターの登録方法説明 |  | 6 | Life Assist2登録後の作動確認方法説明 |  |
| 7 | Life Assist2の登録削除方法説明 |  | 8 | Life Assist2で操作できない場合の対処方法説明 |  | | | |

点検とお手入れ

※ここでは、操作をする場合に守るべき安全事項を説明しています。

お願い

- ご使用前に点検して異常があれば操作を中止し、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。
- 製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

点検

- 少なくとも1ヵ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
- 安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。
点検を行って、作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。
- プレッシャーリターンセンサーの点検を行う場合は、必ず「プレッシャーリターンセンサーの作動点検」の手順に従ってください。本手順に従わない場合、事故のおそれがあります。

●点検箇所

番 号	点検部分	点検内容
①	ガイドレール部 スラット部	作動がスムーズに行えないような傷や曲がりなどの変形・異常な音はないか。
②	プレッシャーリターン センサーの作動	プレッシャーリターンセンサーが作動するか本章の点検手順に従ってください。
③	停電時開閉	P.55「 ■停電時開閉機構の使い方 」に従い、手動で開閉できるか。

プレッシャーリターンセンサーの作動点検

⚠ 注 意

- プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたらリモコンのとめるボタンを押して、ただちにシャッターを停止させ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障のおそれがあります。
- ・標準・耐風タイプ：負荷を検出させた場合は、必ず上限もしくは下限まで作動させてください。
- ・採風タイプ：負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に必ずとめるボタンを押して異常解除をしてください。

※シャッターの初期設定完了後に実施してください。

①シャッターを全開にしてください。

②下枠中央に高さ300mm程度の固い物を置いてください。

※開口上部で実施しないでください。スラットの巻きだるみが発生し、スラットが破損する場合があります。

③リモコンのとめるボタンを押してください。

→シャッターが下降します。

④シャッターが固い物に当たり、下降が停止し自動的に上昇して全開で停止します。

標準・耐風タイプ：負荷を検出させた場合は、開動作時はその位置で停止します。閉動作時は反転上昇中のみ異常が表示され全開位置もしくはとめるボタンで止めた時に異常表示が解除されます。

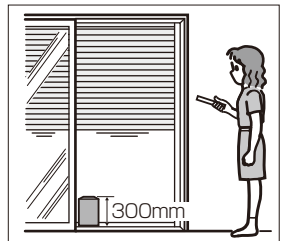
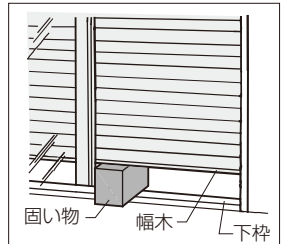
採風タイプ：負荷を検出させた場合は、必ず上限まで作動させた後に必ずとめるボタンを押して異常解除をしてください。

⑤シャッターが全開停止していることを確認してから下枠の上の固い物を取り除いてください。

⑥シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店または当社お客さま相談センターへ連絡してください。

→シャッターの下降が停止しない。

→シャッターが自動的に上昇しない。

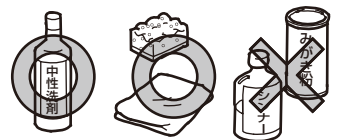


お手入れのしかた

- 電動窓シャッター 標準・耐風タイプはアルミニウムおよび鋼板で、採風タイプはアルミニウムで作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などは、しみ、腐食、作動不良などの原因になりますので定期的に掃除してください。
- 下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物等がないようにしてください。作動不良や破損するおそれがあります。
- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面やガイドレール内部に付着した汚れは、しみ、腐食、作動不良などの原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも月に1回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お願い

- お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ペラなどを使用しないでください。
- 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



①表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを取り除いてください。

②下枠やガイドレール内部に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを拭き取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。



お願い

- 「採風タイプ」の場合は、シャッターを採風状態（シャッターが通気できる状態）にしてスラットの間のゴミ、ホコリ、砂なども取除いてください。シャッターがきれいに閉まらない原因になります。



〈シャッター採風状態〉

③以下の要領で汚れを落としてください。

【あまり汚れがひどくない部分】

- ・ぞうきんで水ぶきした後、から拭きしてください。

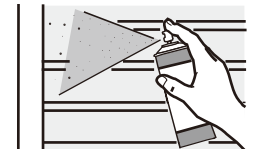
【特に汚れがひどい部分】

- ・うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、から拭きしてください。



④鋼板部にサビがでた場合

- ・目の細かい紙ヤスリなどでサビを完全に落とします。次に、市販のスプレー式ラッカーを吹付けてください。そのとき、スラットのかみ合っている部分などの可動部にかからないように注意してください。



故障かなと思ったら

ここでは、故障の見分け方および、故障やご使用上でご不明な点の連絡先について説明します。
シャッターが動かない場合、とめるボタンを押してから、下表「シャッターが動かない場合」に従ってください。

シャッターが動かない場合

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。 停電復帰後、「■異常表示の原因と解除のしかた」を参照してください。	P.49～52
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。 ブレーカーを戻した後、「■異常表示の原因と解除のしかた」を参照してください。	P.49～52
ボタンは確実に押しましたか？	本書の「■操作のしかた」を参照して操作してください。	P.13～27
異常表示していませんか？	本書の「■異常表示の原因と解除のしかた」を参照してください。	P.49～52
手動で開閉できますか？	操作ハンドルを引いて電動開閉に戻してください。	P.55
幅木ロックが施錠側になっていませんか？	解錠側にしてください。	P.54
ガイドレールに障害物はありませんか？	障害物を取除いてください。	P.17
ガイドレール・スラットなどが変形していませんか？	変形している場合はただちに使用を中止し、 「■重要なお知らせ」の窓口までご連絡ください。	P.1
連続して開閉しませんでしたか？	10～15分程度休ませてから開閉してください。	P.6
シャッターが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待つてから作動させてください。 無理に作動させると故障の原因となります。	P.6
高機能リモコンの場合、品種番号選択は ありますか？	高機能リモコンのメニューボタンから「窓を選択」を選択し 品種番号を合わせてください。	P.20
高機能リモコンにキーロック、 メニューロックがかかっていますか？	高機能リモコンのメニューボタンを長押しし ロックを解除してください。	P.21
無線機を使っていますか？	シャッターのそばで無線機は使用しないでください。	—
高周波ノイズの出る物が 近くにありませんか？	シャッターのそばで電子レンジや医療機器などの 高周波ノイズを発生する機器は使用しないでください。	—

シャッターが途中で止まってしまう場合

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
ガイドレール内部にゴミ、 ホコリなどが付いていませんか？	「お手入れのしかた」にしたがって掃除してください。	P.61
開閉中に途中で止まってしまういませんか？	「■シャッターの上下限位置の設定のしかた」にしたがって 設定してください。	P.58
シャッターの全開・全閉時の 停止位置がズレていませんか？	「■シャッターの上下限位置の設定のしかた」に したがって設定してください。	P.58

シャッターがワンタッチ開/閉できない場合

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
開閉ボタンを押し続けるとシャッターを 開閉できない状態になっていませんか？	「■シャッターの上下限位置の設定のしかた」に したがって設定してください。	P.58

●お問合わせ先については、P.1「■重要なお知らせ」を参照してください。



商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ 対象商品 サッシ・ドア商品

■ 保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまるがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
- ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うサビ、かびなどその他類似の不具合
- ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑧天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAL-584N	事業所コード AW87	2023.5.1発行
---------------	-------------	------------

